

ITU-R SG4 WP4C 会合(2026年4-5月)

報告書(案)

1. 会合の名称

ITU-R Study Group 4(SG 4)Working Party 4C(WP 4C)
(移動衛星業務及び無線測位衛星業務に関する作業部会)

2. 開催日程

2026年4月22日(水)～5月1日(金)

3. 開催場所

スイス連邦ジュネーブ ITU 本部及びリモート会議

4. 会合の位置づけ、参加者及び入力文書

WP4C は、衛星業務を扱う第4研究委員会(SG4)の作業部会であり、移動衛星業務(MSS)及び無線測位衛星業務(RDSS)の軌道及び周波数有効利用関係を扱っている。

WP4C 会合は、河合宣行氏(日本)が議長を務め、今会合においては、表 1 に示す Sub-Working Group(SWG)、Drafting Group (DG)、Ad-hoc Group 等が設置された。

79 か国の主管庁、他団体及び ITU 事務局から合計 793 名が出席した。日本からは、表 2 に示す 36 名が出席した。

本会合においては、216 件の入力文書について審議が行われ、計 34 件の出力文書が作成された。

に日本寄与文書の審議結果を、表 4 に「プレナリで審議された出力文書と結果一覧」、表 5 に入力文書一覧を示す。

表 1 WP4C の審議体制

WP/WG/SWG		検討案件		議長
WP4C Plenary				河合 宣行氏 (日本)
WG4C1 Plenary	【MSS 周波数関係】		Mr. P. Deedman (Policy Impact Partners、英国)	
	SWG4C1a	WRC-27 議題 1.12 関係 (低データレート 2GHz 帯 MSS)		Mr. N. Spina (ドイツ)
	SWG4C1b	WRC-27 議題 1.13 関係 (衛星ダイレクト通信)		Mr. A. Pastukh (ロシア)
		DG-Sharing		Ms. X. Wang (中国)
	SWG4C1c	WRC-27 議題 1.14関係 (第一及び第三地域における 2GHz 帯 MSS の追加分配)		Ms. J. Manner (米国)
		DG		Ms J. Chen (中国)
DG on Rec. M.1184	ITU-R 勧告 M.1184 改訂		Mr. K. Masrani(英国)	
WG4C2 Plenary	【MSS 一般事項及び RNSS 関係】 ITU-R 勧告 M.1480-0 改訂		Mr. L. Lara (メキシコ)	
	SWG4C2a	WRC-27 議題 1.11 (2GHz 帯 MSS 衛星間通信)		Ms. X. Hernandez (メキシコ)
	SWG4C2b	RDSS/RNSS 関係		共同議長: Mr. T. Hayden(米国) Mr. Dmirty Arnov (ロシア)
		DG WRC-31 暫定議題 2.9		Mr. Y.Piriou (フランス)
AHG Handbook		衛星通信技術ハンドブック		Ms. J. Manner (米国)
AHG MSS PC		既存 MSS の保護基準 - WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13、1.14 の共用・両立性検討に適用する MSS 保護基準 - ITU-R 勧告 M.1183 改訂		Mr. X. Meng (中国)

表 2 日本からの出席者(敬称略・順不同)

	氏名	所属
1	住友 貴広	総務省 基幹・衛星移動通信課
2	飯塚 悠太	総務省 基幹・衛星移動通信課
3	小暮 聡	宇宙航空研究開発機構
4	橋本 昌史	宇宙航空研究開発機構
5	宮寺 好男	日本無線株式会社
6	伊藤 信幸	日本無線株式会社
7	河合 宣行	KDDI 株式会社
8	福井 祐介	KDDI 株式会社
9	今田 諭志	KDDI 株式会社
10	縣 幹哉	KDDI 株式会社
11	棟形 丈仁	KDDI 株式会社
12	黒沢 健人	株式会社エム・シー・シー
13	林 剛史	株式会社エム・シー・シー

14	清水 肇	株式会社 QPS 研究所(宇宙技術開発株式会社)
15	藤野 太熙	株式会社 QPS 研究所(宇宙技術開発株式会社)
16	今田 紫生良	株式会社 QPS 研究所(宇宙技術開発株式会社)
17	板橋 良平	株式会社 QPS 研究所(宇宙技術開発株式会社)
18	佐藤 喬也	株式会社 QPS 研究所
19	河野 宇博	スカパーJSAT 株式会社
20	三留 隆宏	スカパーJSAT 株式会社
21	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
22	海江田 洋平	ソフトバンク株式会社
23	長津 知美	ソフトバンク株式会社
24	新 博行	NTT ドコモ株式会社
25	谷田 尚子	NTT ドコモ株式会社
26	宇都宮 隆介	楽天モバイル株式会社
27	ワラーンラッ ト ウィリヤ	楽天モバイル株式会社
28	大野 誠	楽天モバイル株式会社
29	チェ イエジン (崔 睿晋)	楽天モバイル株式会社
30	角田 智子	一財)航空保安無線システム協会
31	能見 寿男	一財)航空保安無線システム協会
32	田川 文夫	一財)航空保安無線システム協会
33	豊福 直人	一財)航空保安無線システム協会
34	植田 由美	ワシントンコア L.L.C.
35	地引 史子	ワシントンコア L.L.C.
36	片山 麻衣子	ワシントンコア L.L.C.

表 3 WP4C への日本寄与文書の審議結果

文書番 号 4C/**	件名	担当 WG	審議結果	最終 出力文書 4C/TEMP /**
554	WRC-27 議題項目 1.13 の CPM テキスト草案に向けた作 業文書の修正案	WG4C1 SWG4C1b	(フランスとの共同提案文書) 各国ならびに関係機関からの 提案文書を統合したCPMテキ スト草案に向けた作業が作成さ れ、その文書に含めることで合 意された。本作業文書は、次回 以後引き続き議論が必要として 議長報告に添付された。	169
635	ITU-R 報告 M.[RES.609] 草案へ向けた作業文書の改訂 提案一	SWG4C2b	文書見直しの提案個所が出力 に反映された。文書の見直し必 要性のコメントを行って提案に 対しては、他からも同様の提案 がなされ、議論の後に日本から のコメント内容に沿う方向での 見直しが行われ、出力に反映さ れた。	150
636	WRC 27 議題 1.11 に関する 文書の修正提案	SWG4C2a	日本からの提案が議題に関す る作業文書及び CPM テキスト 案の作業文書に反映された。	TEMP/15 6、158
637	WRC-27 議題 1.12 における 共用検討の提案	WG4C1	日本からの提案について、作業 文書に反映、議長報告に添付さ れた。	4C/TEMP /167

文書番号 4C/**	件名	担当 WG	審議結果	最終 出力文書 4C/TEMP /**
638	WRC-27 議題 1.14 に関する HIBS と MSS(地球から宇宙) の共用検討に関する提案	WG4C1	日本からの提案について、特に 質疑無く、作業文書に反映、議 長報告に添付された。	4C/TEMP /163
639	WRC-27 議題 1.13 における HIBS と DC-MSS-IMT の共 用検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHAR- ING	日本からの提案について文書 を通した議論が行われ、次回以 後引き続き議論が必要な内容 として作業文書に反映、議長報 告に添付された。	170
640	WRC-27 議題 1.13 の下での 既存 MSS と DC-MSS-IMT 間の共用・両立性検討に関する 作業文書の更新提案	WG4C1 SWG4C1b	DC-MSS-IMT 衛星から既存 MSS 衛星への干渉影響に関す る評価結果が作業文書に反映 された。一方で、前回会合で作 業文書へ反映された、DC- MSS-IMT 衛星に接続する IMT 端末から既存 MSS 地球 局への干渉影響に関する評価 について、その必要性が指摘さ れた。当該評価の扱いについて は継続議論となった。	4C/TEMP /170P6
641	WRC-27 議題 1.13 の CPM テキスト草案に向けた作業文書 の修正案と WP5D へのリエゾ ン文書の提案	WG4C1 SWG4C1b	各国ならびに関係機関からの 提案文書を統合したCPMテキ スト草案に向けた作業が作成さ れ、その文書に含めることで合 意された。本作業文書は、次回 以後引き続き議論が必要として 議長報告に添付された。 WP5D へのリエゾン文書につ いてはPlenaryまで議論が継 続した結果合意されず、送出さ れなかった。	169(CPM テキスト) 174(リエゾ ン文書)
642	地上 IMT と DC-MSS-IMT 間の共用検討作業文書の更新	WG4C1 SWG4C1b DG-SHAR- ING	日本からの提案について文書 を通した議論が行われ、次回以 後引き続き議論が必要な内容 として作業文書に反映、議長報 告に添付された。	170
643	694/698 - 960 MHz にお けるアグリゲーションファクター の検討を含む地上 IMT と DC-MSS-IMT 間の共用検討	WG4C1 SWG4C1b DG-SHAR- ING	日本からの提案について文書 を通した議論が行われ、次回以 後引き続き議論が必要な内容 として作業文書に反映、議長報 告に添付された。	170
644	698-960 MHz 帯および 1710-1970 MHz 帯で運用 される SISO および MIMO 構成の DC-MSS-IMT システム から隣接国の地上 IMT ユー ザー機器に対する干渉評価 (SISO および MIMO 構成)	WG4C1 SWG4C1b DG-SHAR- ING	日本からの提案について文書 を通した議論が行われ、次回以 後引き続き議論が必要な内容 として作業文書に反映、議長報 告に添付された。	170

文書番号 4C/**	件名	担当 WG	審議結果	最終 出力文書 4C/TEMP /**
645	DC-MSS-IMT システムにおける衛星ビームの定義とビーム配置	WG4C1 SWG4C1b	日本からの提案について今回は詳細な議論がされなかったが、各国ならびに関係機関からの提案文書を統合したCPMテキスト草案に向けた作業が作成され、その文書に含めることで合意された。本作業文書は、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
646	WRC-27 議題 1.13 に基づく 1 710-1 970 MHz 帯 および 2 110-2 170 MHz 帯における固定業務(FS)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
647	WRC-27 議題 1.13 に基づく 1 710-1 970 MHz 帯における気象衛星業務(MetSat)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
648	WRC-27 議題 1.13 に基づく 1 710-1 970 MHz 帯における航空移動業務(AMS)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
649	WRC-27 議題 1.13 に基づく 698-960 MHz 帯における固定業務(FS)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
650	WRC-27 議題 1.13 に基づく 698-960 MHz 帯における高度道路交通システム(ITS)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
651	WRC-27 議題 1.13 に基づく 698-960 MHz 帯における放送業務(BS)と DC-MSS-IMT の共用・両立性検討に関する提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
652	非静止衛星 DC-MSS-IMT システムにおける干渉管理	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
653	WRC-27 議題 1.13 の共用・両立性検討に関する作業文書の更新の提案	WG4C1 SWG4C1b DG-SHARING	日本からの提案について文書を通した議論が行われ、次回以後引き続き議論が必要な内容として作業文書に反映、議長報告に添付された。	170
654	新興の RNSS システムの技術特性及び運用目標の検討の改訂	SWG4C2b	提案した文書の見直し、他の提案も含めて出力に反映された。	152

5. 審議の内容

【WP4C プレナリでの審議】

河合 宣行氏(日本)が議長を務め、グループ構成や運営にかかわる一般事項、各 WG/SWG 共通のトピック、プレナリに割り振られた入力文書、各 WG からの出力文書等について審議した。

(1) グループ構成や運営にかかわる一般事項、各 WG/SWG 共通のトピック

WP4C 傘下の WG/SWG/Ad-hoc Group(AHG)等の設置について、4C/ADM/49 が提示された。この文書については、SWG 議長の所属、及び文書の割り当てを追加するなどの修正を行ったほかは特段の議論はなかった。

ただし、WG4C-1 における議論を経て、当初 WG4C-2 の傘下に設置されることが提案されていた DG MSS PC については Ad-hoc Group MSS PC としてプレナリの直下に設置されることに変更となった。

(2) プレナリに割り振られた入力文書の審議

以下の文書が WP4C プレナリにおいて審議された。

- CA/281:第 33 回 RAG 会合の結論を知らせる回章である。WP4C と関連する内容として以下の 4 点が連絡された。
 - 2028 年 9 月から 2029 年 8 月まで建設プロジェクトの影響で ITU 設備が使用できない期間が発生する予定である。できる限りジュネーブ市内で開催を継続するよう試みているが、他国からのホストの申し出も受け付ける。
 - RA-23 の決定の実施状況に関連して、RAG が CPM プロセス改善のための Correspondence Group(CG)を設置したことが紹介され、積極的な参加が促された。
 - 寄与文書は WP の開催 12 日前までに確実に提出するべきであるとの結論については RAG がこれを堅持することを確認した。
 - ITU-R SG 及び WP の Working Method と構成について長時間かけて議論したが結論が得られず、SG/WP 構成に関する CG のみが設置された。
- 用語に関する文書(CCT とのリエゾン活動)

以下のリエゾン文書は、いずれも WP4C にはコピー送付であり特段のアクションは不要である旨が確認され、了知された。

文書番号 4C/**	送付元	概要
534	WP 5A	「MIMO」と「Mesh newtork」の定義について、SG4 語彙ラポートからの提案を再度微修正することを提案する CCT へのリエゾン返書
540	CCT	「MIMO」と「Mesh newtork」の定義を確認し、用語集に掲載したことを知らせるリエゾン文書
544	WP 5D	CCT に対して、“Mobile Telecommunication Terminal” の用語は、IMT では User Equipment (UE) が既に使われており、この新用語は 混乱を招く可能性がある」と指摘し、当該用語・定義の承認には支持しないと回答するリエゾン返書

- その他のリエゾン文書

以下の ITU-R 外から送付されたリエゾン文書は、いずれも特段のアクションは不要である旨が確認され、了知された。

文書番号 4C/**	送付元	概要
529	IMO	第 21 回 IMO/ITU Experts Group 会合の報告
532	ITU-T SG3	ITU-T SG3 において議論されている、「小売衛星事業者による高速インターネット接続の提供に関する経済的・政策的側面に関するより詳細な情報の提供を求める要請」に関連して、現在進行中の 2 つの作業項目の目次(Annex)を共有するリエゾン文書
741	ITU-D SG1	ITU-D SG1 Q2/1(配信および放送のためのデジタル電気通信／ICT サービスおよび技術の導入を可能にする政策と規制)の作業進捗を知らせるリエゾン文書
742	ITU-D SG1	ITU-D SG1 Q3/1(災害リスクの軽減および管理のための電気通信・ICT の利用)から、電気通信・ICT 分野における災害レジリエンスに関する作業項目についての情報提供を要請するリエゾン文書

(3) 出力文書(WP4C の外に出るもの)

SG4 に上程された文書

(ア) 勧告改訂案

- ITU-R 勧告 M.1184 改訂案(TEMP/162)

※本文書については、一部の修正と、SG4 に対して通常の二段階採択・承認手続きを提案することで合意した。

(イ) 他グループへのリエゾン文書

以下の通り、他 WP 等に送付するリエゾン文書案4件が審議され、そのうち3件が承認され、宛先に送付された。

なお、WP5D 宛てリエゾン文書(TEMP/174)については、WRC-27 議題 1.13 の検討の進捗等を連絡するリエゾン文書であり、WG4C1 においてはアグリゲーション係数等に関する記載には合意したが、Cross-border operations について未合意のまま提出されたものであったが、プレナリにおいても合意が得られず、送付されなかった。

4C/TEMP/ **	主な 送付先	題目	結果
143	WP7C	ITU-R 新報告 RS.2566 の RNSS 関連のコメントを伝えるためのリエゾン文書	承認
144	WP5B	5030-5091MHz 帯で運用される AM(R)S 送信機からの 5010-5030 MHz 帯で運用される RNSS 受信機の保護に関するリエゾン返書	承認
149	WP4A	衛星通信技術ハンドブックに関する作業の進捗を知らせ、第 5 章と第 6 章を送付する	承認
174	WP5D	WRC-27 議題 1.13 に関連するリエゾン返書	不承認

(ウ) 議長報告の要素

WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13、1.14 のための共用・両立性検討で使用するべき保護基準に関連して WP4C 議長報告に含めるべき要素文書(TEMP/154)は、一部の修正を前提に、議長報告に反映させることで合意した。

(4) WP4C でさらなる検討を要する文書

議長報告に添付された文書数は以下のとおり(内訳の詳細は表 7 を参照)。

(ア) WP4C1 13 件

(イ) WP4C2 12 件

(ウ) AHG SatCom HB 2 件

(エ) AHG MSS PC 2 件

(5) 次回会合の日程

(ア) 通常会合

2026 年 10 月 7 日から 10 月 16 日までの日程で、スイス・ジュネーブでの開催が予定されている。

(イ) 2026 年 7 月の中間会合(Interim Meeting)

2025 年 11 月 7 日に開催された SG4 会合において、WRC-27 の一部議題は技術的および規制上の課題が多岐にわたり、通常の会合のみでは十分な検討時間が確保できないことが指摘された。このため、SG4 議長から WP4A 及び WP4C に対して、追加の会合を設ける可能性について検討するよう提案されたが、最終決定は 2026 年 4-5 月会合での議論にゆだねられた。

今回会合では、初回のプレナリにおいて追加の会合開催に関する提案が 4C/INFO/8 として発行され、最終プレナリまでの間に議論が行われた。当初提案については、主に次の点について懸念が示された。

- ① 地域機関(主に ATU)の準備会合の日程との重複
- ② 現地参加が難しい主管庁がある
- ③ WRC-27 議題 1.13 以外にも対象とする議題の有無

これらの懸念を考慮した結果、最終プレナリにおいて提案された会合の概要は以下のとおりであった。(4C/INFO/8 Rev.2)

- 開催期間:2026 年 7 月 6 日~10 日(予定)¹
- 開催地:スイス・ジュネーブ
- 会議形式:対面参加および Zoom による遠隔参加の併用

また、運営方法については効率的な議論を目的として以下の方針の採用が提案された。

- 中間会合の対象は WRC-27 議題 1.13 に限定する。
- 会議の構成を通常の会合より簡素化し、プレナリの直下に SWG グループを設置する。これにより、SWG からの出力文書は TEMP として扱い、リエ

¹ ATUの会合との重複については、ATUの事務局との詳細なスケジュール確認の結果、ATUの最も重要な会議とWP4Cの中間会合とが重ならないようにすることで合意したと報告された。

ゾン文書の送付も可能になる。

- 新規入力文書の提出は原則として行わない(ただし、他の ITU-R WP からのリエゾン文書はこの限りではない)。中間会合前に提出された寄与文書は、2026 年 10 月会合で審議される。
- 対面参加が困難な主管庁にも配慮し、遠隔参加を含めた幅広い合意形成を目指す。遠隔参加者には意思決定に参加できないという制限があることから、賛否が分かれて合意に至らなかった事項(リエゾン文書を除く)は、2026 年 10 月の通常会合に持ち越す。

WP4C の最終プレナリでは以上の方針で合意され、SG4 による最終的な決定を待つことになった²。

5.1. WG4C1 プレナリ

Paul Deedman 氏(Policy Impact Partners(英国))が議長を務め、WG4C1 の審議体制及び割り当てられた入力文書、及び傘下の SWG から上程された文書を審議した。

【結論】

- プレナリでの決定と WG4C1 での議論に基づき、WRC-27 議題 1.12、1.13、1.14 担当 SWG のほか ITU-R 勧告 M.1184 改訂作業を担当する DG on Rec. M.1184(議長:Kamlesh Masrani 氏(英国))を設置することが決定された。
- 各 SWG からの出力文書のうち、WRC-27 議題 1.13(SWG4C1b)に関する WP5D へのリエゾン文書(TEMP/174)については、検討が時間切れとなったため未合意のままプレナリに提出することとなった。そのほかの出力文書については承認された。

【WG レベルでの審議事項】

- WRC-27 議題 1.13 に関する 3GPP からのリエゾン文書への返答については、WG レベルにおいて審議された。以下の議論があり、返答は送付しないこととなった。

3GPP RAN#110においてNR-NTN用の新バンドとしてn7(2.5/2.6 GHz)及び n25(1.9 GHz)の検討要請があったことを踏まえ、ITU-R WP4C 及び WP5D に対し、WRC-27 議題 1.13 に関する検討状況及び今後の技術検討に関するガイダンス提供を求めるリエゾン文書(4C/539)が入力された。WP5D では長時間の議論の結果、合意に至らず返答しないこととなった。

これに対し、フランス(4C/665)及び中国(4C/726)からは、WP4C 及び WP5D において DC-MSS-IMT に関する共用検討が継続中であること、WRC-27 における制度的取扱い未確定であること等、ITU-R における現在の検討状況を説明するに留め、WRC-27 後でなければガイダンスは提供できない旨の返答リエゾン文書案が提案された。

ナイジェリア(4C/674)からは、上記に加え、既存の地上 IMT 及び衛星システ

² 5月15日に開催されたSG4会合において、同日程でWP4A及び4Cの中間会合を同時開催することが最終決定された(詳しくは回章4/LCCE/144を参照)。

ムへの影響、共用条件、クロスボーダー干渉等を考慮した検討が必要であることや、今後の 3GPP との連携は ITU-R におけるコンセンサスに基づき進める必要があること等、より詳細な内容を含む返答リエゾン文書案が提案された。

一方、米国(4C/697)及びカナダ(4C/709)からは、一部の国では既に国内制度に基づき DC-MSS-IMT の認可・導入が進められていることを踏まえ、3GPP に対し、各国の既存制度に基づき活動を継続できる旨を含めるべきとの提案があった。

イラン、ロシア、ドイツ等からは、ITU-R は現在の検討状況を説明する立場に留まるべきであり、各国制度への言及や、3GPP への示唆・ガイダンスを含めるべきではないとの意見が示された。

WG4C1 議長と寄与文書提出国とのインフォーマル協議が実施され、「3GPP が言及した周波数帯が WRC-27 議題 1.13 の検討対象周波数帯に含まれている」旨を中心とした簡潔な返答リエゾン文書案が作成された。しかし、これに「WP4C による検討は 3GPP における継続中の作業に影響を与えるものではない」旨を追記すべき等との意見が提出され、WG4C1 及びインフォーマル協議において複数回議論が行われたが、合意に至らず、返答は送付しないこととなった。

- 本 WG からは以下の文書を SG4 に上程することで合意した。
ITU-R 勧告 M.1184 改訂案(TEMP/162)

5.2. WG4C2 プレナリ:MSS 一般事項及び RNSS 関係

Luis Lara 氏(メキシコ)が議長を務め、所掌となっている文書及び案件について審議した。【結論】

- WRC-27 議 題 1.11(1518-1544MHz, 1545-1559 MHz, 1610-1645.5MHz, 1646.5-1660MHz, 1670-1675MHz 及び 2483.5-2500MHz 帯の宇宙から宇宙の回線のための技術上、運用上、規則上の手段の検討)に関係して、議題を支持する作業文書(本議題の宇宙から宇宙の回線が既存の MSS の宇宙から地球の回線及び地球から宇宙の回線の枠内で運用される等のコンセプトのまとめ、及び、関連共用検討含む)とそれに付随するシステム特性及び共用検討に用いられる特性まとめ表、CPM テキスト案(関連質疑応答サマリ含む)、及び作業計画を議長報告へ添付した。
- RNSS システム特性をまとめた ITU-R 勧告 M.1787 について勧告改訂草案を更新し、議長報告へ添付することとなった。
- 無人航空機アプリケーションを想定した5030–5091MHz帯AM(R)Sの WP5B における検討状況の連絡をリエゾンで受信し、同一周波数帯における共用検討の実が扱われていたため、5010-5030MHz 帯 RNSS 保護のための暫定e. i. r. p. 密度レベルが記載されている無線通信規則(以下、RR という) 第 5.443C 号に関連する両立性検討に関するWP5Bの今後の計画に対する質問を行う WP5B へのリエゾン返信を出力した。
- 決議 609(WRC-07 改)に関して、single-system epfd 値低減方法や aggregate epfd 制限値に対する個々の single-system epfd 値の影響を検討した作業文書を更新し、議長報告へ添付することとなった。
- WRC-31 暫定議題 2.9 に関係する作業文書を更新し、低軌道 RNSS システムを想定する新 RNSS 分配候補として、VHF, UHF, L 及び C を含む内容で、議長報告へ

添付した。

- 1.6GHz 帯における MSS(地球から宇宙)と電波天文との間の両立性を扱う ITU-R 勧告 M.1316 について、編集上の修正を行う改訂作業の作業文書を出し、議長報告へ添付した。

MoU(Memorandum of Understanding)対象の 1.6GHz 帯 MSS のアプリケーション特性をまとめた ITU-R 勧告 M.1480 について、1980-2010MHz 帯の中国の MSS システムの特性を追加する中国提案に基づいた作業文書を出し、議長報告へ添付した。

-

【主な議論】

- WRC-27 議題 1.11 に関して、議題を支持する作業文書及び関連文書、CPM テキスト案及び関連文書、及び作業計画を議長報告へ添付した。SWG4C2a では様々な議論が行われたが、WG4C2 レベルにおいては、一部のオフライン議論が必要となった箇所を除き、SWG4C2a の出力を基本的にそのまま承認した。WP4C プレナリーにてオーストラリアが「WG4C2における変更点はあったか？」と質問し、「CPM テキスト中に RR 第 4.4 条を参照した箇所があったため削除を求めた」とイランが説明した。続いて、イランが「この議題の衛星間回線で使用される非静止衛星には調整手続きが適用されないため、この議題において調整手続きの検討はない」と CPM テキスト中に追記することをコメントした。これに対して、カナダが「WP4C プレナリーで編集を始めることに懸念がある」として、イランのコメント追加提案を[]付きとすることを求め、米国が支持した。この後に、イランの発言等で RR 第 4.4 条に関する議論が長引いたため、本議論を WP4C プレナリーで長引かせることを避けるために、WP4C 議長が文書の冒頭に「この文書は RR 第 4.4 条を推進するものでも禁止するものでもない」とノートするのみ(CPM テキストの中身への編集は無)とすることを提案し、このテキストを確認した後に議論を終了した。

5.3. 各トピックの審議内容

以下に各トピックの審議内容を報告する。

5.3.1.WRC-27 議題 1.11 関係

SWG 4C2aで議論され、Xochitl Hernandez 氏(メキシコ)が議長を務め、WRC-27 議題 1.11(1518-1544 MHz、1545-1559 MHz、1610-1645.5 MHz、1646.5-1660 MHz、1670-1675 MHz 及び 2483.5-2500 MHz 帯の宇宙から宇宙の回線のための技術上、運用上、規則上の手段の検討)について審議した。

【主な検討案件と審議結果】

1. 議題に関する作業文書を更新し、次回会合で検討を継続することとした。
2. CPM テキスト案に向けた作業文書を更新し、次回会合で検討を継続することとした。

3. 共用・両立性検討比較のための表(Enabler Table)を更新し、次回会合で作業を継続することとした。
4. 議題に関する作業計画は大きな変更なく承認された。

5.3.1.1. 議題に関する作業文書の更新

入力文書: 4C/528 Annex 3、556(ロシア)、578(CRAF)、590(Globalstar)、596(CEPT)、608(オーストラリア)、625(AST, Ligado)、660(フランス)、677(米国)、705(Viasat)、710(中国)

出力文書: 4C/TEMP/158 及び Part 1～4

- 新たに提出された検討結果／既に提出された検討の更新の反映
共用・両立性検討について以下の寄与文書が提出され、各提案については明確化のための質疑応答や修正を経てそれぞれ作業文書に反映された。

表 4 WRC-27 議題 1.11 下で提出された共用・両立性検討(2026 年 4～5 月会合)

文書番号 (4C/)	提出元	概要
556	ロシア	ARNS 及び ARNSS に関する動的シミュレーションに基づく干渉評価結果
578	CRAF	隣接周波数帯又は影響を受け得る周波数帯(1 610.6-1 613.8 MHz、1 660-1 670 MHz、及び 4 990-5 000 MHz)における RAS との共用検討結果(一部次回 WP4C 会合で修正予定)
590	Globalstar	1 610-1 626.5 MHz で運用される MSS(地球から宇宙)への悪影響を検討するための検討結果
596	CEPT	対象周波数帯のうち 1670-1675MHz 帯と隣接する 1675-1690MHz 帯で運用される MetSat との共用の可能性についての検討結果
608	オーストラリア	1610-1616 MHz 帯の衛星間リンクと既存の NGSO 衛星コンステレーション(System A)との両立性評価
625	AST, Ligado	1626.5-1660 MHz 帯において、少数の NGSO MSS ユーザー宇宙局が、GSO 衛星に向けて宇宙間リンク信号を送信することにより地球から宇宙方向で運用する被干渉側 MSS 衛星受信機に干渉を与える可能性についての検討
705	Viasat	GSO MSS 同士および GSO-NGSO MSS 間の共用シナリオの比較分析
710	中国	1 610-1 626.5 MHz 帯及び 2 483.5-2 500 MHz 帯に関する共用・両立性検討の前提条件及び評価結果の更新

- 作業文書の構成の更新

フランス(4C/660)から、主に編集上／構成上の修正や内容の精緻化に向けた Editor's note の追記が提案され、適宜作業文書に反映された。また、米国(4C/677)から、共用検討の詳細を Annex に移して作業文書本文の分量を減らす(議題 1.12 及び 1.13 と同様)提案があった。これに基づき、Annex は以下の構成とし、それぞれに該当する共用検討を記載することとなった。

Annex 1:

1525-1544 MHz/1545-1559 MHz 帯(宇宙－地球)と 1626.5-

1645.5 MHz/1646.5–1660 MHz 帯(地球–宇宙)を対とする、GSO 限定の MSS サービスプロバイダーが関与する宇宙間リンクに係る共用・両立性検討

Annex 2:

1518–1525 MHz 帯(宇宙–地球)と 1670–1675 MHz 帯(地球–宇宙)を対とする、GSO 及び NGSO の MSS サービスプロバイダーが関与する宇宙間リンクに係る共用・両立性検討

Annex 3:

1616–1626.5 MHz 帯(宇宙–地球、二次)と 1616–1626.5 MHz 帯(地球–宇宙、一次)を対とする、NGSO MSS サービスプロバイダーが関与する宇宙間リンクに係る共用・両立性検討

Annex 4:

1610–1626.5 MHz 帯(地球–宇宙)と 2483.5–2500 MHz 帯(宇宙–地球)を対とする、GSO 及び NGSO の MSS サービスプロバイダーが関与する宇宙間リンクに係る共用・両立性検討

- RAS の扱いについて

CRAF(4C/578)が提出した RAS との検討について、1 610–1 613.8 MHz 帯の帯域内干渉を扱ったうえで約 30 dB の閾値超過の結論とする点については、当該周波数帯は決議第249(WRC-23、改)に基づけば検討対象の隣接周波数帯であるため、決議と整合していないとの意見があった。CRAF からは RAS 受信機は極めて高い感度を有するため 1.6 GHz 帯で非常に厳格な保護が必要であるとの見解が述べられた。これに対し、今後の検討においては、帯域外発射の影響を明示的に評価すべきであることが主張された。

<審議結果>

- WG4C2、プレナリで承認され、議長報告書に添付され継続審議となった(TEMP/158 及び Part 1~4)。

5.3.1.2. CPM テキスト案の更新

入力文書: 4C/528 Annex 1、557(ロシア)、558(ロシア)、591(Global-star)、594(英国)、636(日本)、678(米国)、711(中国)

出力文書: 4A/TEMP/156、160

- 日本提案の反映

日本(4C/636)から、これまで行われてきた理論的評価に加え、実運用や実装可能性を踏まえた視点を提供する目的で、既存移動地球局(MES)で用いられている干渉軽減技術が宇宙間リンクにも適用可能であること、日本における 1.5/1.6 GHz 帯宇宙間リンクの軌道上実証において有害な干渉が報告されていないことを情報として共有し、また、CPM テキスト案に対し、関連 ITU-R 勧告・報告及び日本の RR 第 4.4 条下の宇宙間リンクに関するファイリング情報の追加を提案する寄与文書を入力した。

米国及びドイツからは、日本の実証結果は宇宙間リンクの制度化の有用な根拠となるとして支持が示された。

CPM テキスト案に対してはセクション 3.1 に日本が提案した関連 ITU-R 勧告・報告の記載が反映され、日本のファリング情報は、共用検討の作業文書の巻末に反映された。

- 宇宙間リンクと既存／計画中の MSS 局との共用検討(セクション 3.2)

新しく提出された共用検討のサマリーの追加のほか、主に議論となった点や編集が加えられた点は以下のとおり。

1.6 GHz 帯における共用検討の周波数帯区分について

c) Sharing in the band 1 610-1 626.5 MHz となっていた項目について、米国(4C/678)から、1610-1626.5 MHz 帯全体を対象とする検討と、1616-1626.5 MHz 帯における宇宙-宇宙リンクを対象とする検討は前提条件及び検討内容が異なるため、それぞれを別の項目下で扱うことが提案された。これに対し、フランス、ドイツ、SKAO、CRAF 等は、決議第 249(WRC-23、改)には検討対象周波数帯として 1610-1626.5 MHz 帯と記載されており、1616-1626.5 MHz 帯のみを独立して扱うと検討結果をどこに記載すべきか混乱が生じることなどから、元の構成を維持すべきと主張した。最終 SWG セッションでは合意に至らなかったものの、その後の関係者間のオフライン協議により、1) 1610-1626.5 MHz 帯と、2) 1616-1626.5 MHz 帯を対象とする検討を分けて記載する構成で合意した。

ロシア提案の反映

ロシア(5C/557)から、1 610-1 626.5 MHz 帯における NGSO 宇宙間リンクの送信ユーザー局から ARNSS(宇宙から地球)及び ARNS システムとの共用検討結果(コンステレーション全体だけでなく単一 NGSO 送信宇宙局も ARNSS/ARNS に許容不能な干渉を与える)に基づき、同周波数帯における宇宙間リンクの使用は追加の技術及び/又は規制条件なしには不可能であるとの結論を追記する提案があり、カナダ及び米国から検討の前提等に懸念が示されたが、CPM テキスト案に反映された。

また、1 525-1 544 MHz 帯及び 1 545-1 559 MHz 帯、1 626.5-1 645.5 MHz 帯及び 1 646.5-1 660 MHz 帯における共用について、ロシアの示した共用検討結果(調整や干渉軽減措置なしでは NGSO 宇宙間リンクから MSS GSO ネットワークに極めて高い干渉が発生する)に「この結果は MSS 事業者間で調整が全く行われない場合を仮定した理論的評価である」との記載があることにに対し以下を主旨とする反論を記載する提案(5C/558)があった。

- 仮に調整を前提としたとしても、現時点では全ての関連ネットワークとの調整が完了しているわけではなく、新たな端末形態の導入に伴う将来の干渉を防止できる保証はない
- 特に宇宙に配置される NGSO ユーザー端末については、従来の GSO ネットワーク間で用いられてきた調整枠組みを適用することが困難である(①宇宙上の端末は多数の GSO ネットワークから同時に可視となるため新たな干渉経路が生じる②既存の調整が依拠する地理的分離の概念が宇宙上の端末には適用できない)

特に①を説明するための図について GSO と NGSO の幾何関係や距離感が不明確である等の指摘があり、CPM テキスト案には反映されなかった。

- Methods to satisfy the agenda item 及び対応する規制テキスト案(セクション 4、5)

Method A(NOC)の追加

Globalstar(4C/591)の提案に基づき、Method A(NOC)が追加された。

Method B2(米国提案)の修正、Method B3(英国提案)の追加

英国(4C/594)から、前回 WP4C 会合で米国提案に基づき記載された Method B2³に対し、1518-1525 MHz、1525-1544 MHz、1545-1559 MHz、1617.775-1 645.5 MHz、1646.5-1660 MHz 及び 1670-1675 MHz 帯の MSS に宇宙から宇宙方向を追加するとする修正が提案された。1610-1645.5 MHz を 1617.775-1 645.5 MHz と修正しているのは、CEPT 内でまだ検討中の帯域について結論を避けるためであることが説明された。

一方、米国(4C/678)から、Method B2 に対し、1518-1525 MHz、1525-1544 MHz、1545-1559 MHz、1616-1626.5 MHz、1626.5-1645.5 MHz、1646.5-1660 MHz 及び 1670-1675 MHz 帯の MSS に宇宙から宇宙方向を追加するとする修正が提案された。対応する規制テキスト案では、周波数分配表において、1610.6-1613.8 MHz 帯における RAS との共用が困難であるとの共用検討結果を踏まえ、宇宙-宇宙リンクの適用範囲を 1616 MHz 以上に限定するため、周波数分配表において 1613.8-1621.35 MHz と区分されている箇所を 1613.8-1616 MHz 帯及び 1616-1621.35 MHz 帯に分割することが提案された。

米国提案は、前回会合で作成された Method B2 への修正として、また、英国提案は Method B3 として CPM テキスト案に反映された。

なお、上記提案について、以下の議論があった。

– 周波数分配表の分割について

1613.8-1621.35 MHz 帯を 1613.8-1616 MHz 帯及び 1616-1621.35 MHz 帯に分割する米国提案について、Globalstar、フランス、中国及びイラン等から、決議第 249(WRC-23、改)では 1610-1626.5 MHz 帯を一体として扱っており、特定の共用検討結果のみを根拠として周波数帯を細分化することは適切ではないとの懸念が示された。一方、米国及び英国は、RAS 保護及び既存業務保護の観点から合理性があると主張した。英国提案における 1 617.775-1 626.5 MHz の区切りについても不明確という意見があり、これらの周波数帯の区分については明確化が必要である点が Editor's note として記載された。

– 一次分配／二次分配について

ロシアから、1613.8-1626.5 MHz 帯において、MSS(宇宙-地球)は二次分配であるにもかかわらず、Method B2 の記載では宇宙-宇宙方向の利用が一次分配であるかのように解釈される可能性があるとの懸念が示された。これに対し、宇宙間リンクは既存 MSS 分配の方向性及び二次業務としての規制上の位

³ 1518-1544 MHz、1545-1559 MHz、1610-1645.5 MHz、1646.5-1660 MHz、1670-1675 MHz、2483.5-2500 MHzのMSS(一次分配)に宇宙から宇宙方向を追加し、宇宙間リンクにおける送信は既存のMSSと同様の方向性(地球から宇宙:低高度ユーザー局→高高度サービス局、宇宙から地球:高高度サービス局→低高度ユーザー局)に従うことを規定する。さらに、既存業務の保護を確実にするための規則上の措置を採用する。

置付けを維持したまま運用することを意図しており、既存分配の優先順位を変更するものではないことが説明された。また、誤解を避けるため規制上の取扱いをより明確に記載する必要があることが確認された。

– 宇宙間リンクへの調整、規制措置について

ロシアから、宇宙－宇宙方向に既存の一次 MSS 分配を適用する場合、RR 第 9.11A 号に基づく調整手続が適用されないとされていることについて懸念が示された。これについて、米国、カナダ、英国から、宇宙間運用は既存の MSS 事業者の運用の範囲内で行われるものであり、調整もその既存ネットワークの枠組みの中で扱われることから新規調整は不要であるとの説明があった。また、ロシアから 1610-1626.5 MHz 帯について PFD 制限が示されていないことについても懸念が述べられ、これに対して、英国等から、これまでの検討では当該帯域における地上業務への干渉問題は確認されておらず、PFD 制限を設ける必要性はない等の説明があった。

Method B4(中国提案)の追加

中国(4C/711)から、1 610-1 626.5 MHz に宇宙－宇宙を追加し(既存 MSS システムに対するアグリゲート干渉が所定の I/N 保護基準を満たすことを条件とする、1 518-1 525 MHz、1 525-1 544 MHz、1 545-1 559 MHz、1 626.5-1 645.5 MHz、1 646.5-1 660 MHz、1 670-1 675 MHz:TBD とする Method が提案され、Method B4 として CPM テキスト案に追加された。

• 補足文書(Supporting document)の作成

ITU-R 決議第 2-9 に基づき、CPM テキスト案には View やコメントを記載できないことから、会合中に CPM テキスト案に対して提出された質問、コメント、見解等を記載し議長報告に添付して次回会合に持ち越すための補足文書が作成された(TEMP/160)。

<審議結果>

- WG4A2 及びプレナリにおいて CPM テキスト案の作業文書(TEMP/156)及び補足文書(TEMP/160)が承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。
- ただし、イランから、CPM テキスト案における一部の記載が、RR 第 4.4 条の利用を促進するもの、あるいは禁止するものいずれかとして解釈される可能性があるとの指摘があった。これに対し、イランの指摘する内容は本議題の目的ではなく、本議題は RR 第 4.4 条の下で得られた運用経験も含め、実際の運用環境を反映した具体的な技術検討に基づいて規制上の状況を検し、長期的な観点から適切な規制を検討することにある旨が確認された。

5.3.1.3. Enabler table の更新

入力文書:4C/528 Annex 2、573(インド)

出力文書:4C/TEMP/157 及び Part 1

- インド(4C/573)から、共用・両立性検討比較のための表(Enabler Table)に同国

が提出した検討に関するパラメータ等の追記を提案する寄与文書が提出され、内容が反映された。このほか、これまで提出された検討や今回会で新たに提出された検討に関する内容の記入、表構成の明確化を経て、次回会合でさらに作業を進めることで合意した。

<審議結果>

- WG4A2 及びプレナリにおいて承認され、議長報告書に添付され継続審議となった(TEMP/157 及び Part 1)。

5.3.1.4. 議題に関する作業計画の更新

入力文書:4C/528 Annex 3

出力文書:4C/TEMP/159

- 前回会合から持ち越されてきた作業計画(4C/528 Annex 3)において、会合開催時期のみ更新した。

<審議結果>

- WG4C2、WP4C プレナリにおいて特段意見無く承認された(TEMP/159)。
-

5.3.2.WRC-27 議題 1.12 関係

SWG 4C1a にて議論され Nickolas SPINA 氏(ドイツ)が議長を務め、WRC-27 議題 1.12(低データレート非静止衛星の移動衛星業務開発のための適切な分配及び規制措置の検討)について審議した。

【主な検討案件と審議結果】

1. 共用両立性検討の作業文書は、各国寄書に基づき LDR-MSS の定義、共用・両立性検討のパラメータ・結果、Enabler Table 等が更新され、議長報告に添付され、継続審議されることになった。(TEMP/167)
2. CPM テキスト案は、Method を整理したうえで、具体的な値については、TBD または角括弧を付与した未合意の状態で、議長報告に添付され、継続審議されることになった。(TEMP/166)

5.3.2.1. 議題 1.12 に係る共用両立性検討の作業文書の更新

入力文書: 4C/559(ロシア)、579(CRAF)、585(エジプト)、595(英国)、601(DECT Forum)、602(DECT Forum)、606(カナダ)、630(ESA)、634(CEPT)、637(日本)、659(フランス)、668(Sateliot)、669(Sateliot)、712(中国)、713(中国)

出力文書: 4C/TEMP/167

- 前回 WP4C 会合(2025 年 10 月)において、作業文書の更新及び各共用検討をまとめる Enabler table が作成された。
- 今回会合では、各国からの寄書に基づき、作業文章の更新、各周波数帯における共用・両立性検討のパラメータや結果のレビュー、Enabler table の更新が行われた。作業文章は、メインボディにシステム特性・定義・規制上の結論等を、Annex に共用検討の結果(Annex 3:1.4GHz 帯(1427-1432 MHz)、Annex 4:1.6GHz 帯(1645-1646 MHz)、Annex 5:1.9GHz 帯(1880-1920 MHz)、Annex 6:2GHz 帯(2010-2025 MHz)、Annex 7:LDR-MSS へのリバーススタディ)とする構成である。
- 日本から提案された寄書(4C/637)については大きな修正なく、作業文書の Annex 5(1.9GHz 帯)および Annex 6(2GHz 帯)に反映された。
- 時間節約の為、疑問点はオフライン議論で解決し、結果を反映していく方法が取られた。
- LDR-MSS の定義を明確にするため、オフライン E メール議論を行ったが、合意に至らなかったため、フランスがリードする非公式のドラフティンググループ(DG)が設置され、DG セッションが 2 回行われた。

メインボディについて

- 4 章 LDR-MSS 説明/定義において、定義はアメリカより提示された「LDR NGSO MSS システムは、定義の表に記載されるパラメータと一致する、ユーザー端末からの短バーストデータ通信を包含することを想定している」とする内容で合意された。定義の表は DG セッションで議論された内容が作業文書に反映されたが、合意が得られなかった一部項目は角括弧が付与され、具体的な値については議論がなされず次回会合で継続議論とされた。
- 6 章 技術運用特性において、ロシアより System1 の広帯域(20MHz 幅・40MHz 幅)である Configuration D・E は低データレートシステムに不適と意見され、パラメータ表の D・E に角括弧が付与された。また、アメリカよりパラメータ表に Duty Cycle を追加すべきと意見され、エディタズノートに追記された。
- 10 章 検討サマリにおいて、一部の検討についての結論は時期尚早と指摘され、結果は次回会合でアップデートされる旨のエディタズノートが付与された。また Enabler Table にも検討サマリの項があるため、同様に反映が必要とエディタズノートに追記された。

Annex3~7について

- 1.4GHz 帯において、RAS(電波天文)との共用検討で用いるパラメータに関して Duty cycle の明記が要求され、エディタズノートが付与された。また、EESS との共用検討に関し、アメリカより、System 2 の 1.4GHz 帯利用は提案国の関心が無いのであれば該当の共用検討の結果等の不要な箇所を削除すべきと提案され、フランスも支持し、削除された。
- 1.6GHz 帯において、イギリスの提案した検討の中では、既存 MSS の保護基準には ITU-R 勧告 M.1183 に基づく $I/N = -11.25\text{dB}$ を用いていることが確認され、フランスの提案により、干渉保護基準は、Adhoc PC で議論中であるが、ここでは ITU-R 勧告 M.1183 に基づいていることを明確するテキストが 1.1.

3.3 章に追加された。

- 1.9GHz 帯において、アメリカより、DECT はアンライセンス運用だが、免許不要であっても Study の対象か質問され、DECT Forum より、欧州では法的に保護されなければならないと規定されている旨が回答され、Study は維持されることになった。
- 2GHz 帯において、HIBS との共用検討に関し、既存のノルウェー提案の検討を削除する提案がなされたが、ノルウェーは反対し、既存を Study D、フランス提案を Study DD として併記することとされた。
- Enabler Table について、SWG 議長主導で前回会合にて作成したテーブルの構成が修正され、パラメータや結果を整理し、各業務・システムパラメータごとに内容を更新する作業が進められた。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/167)

5.3.2.2. 議題 1.12 に係る CPM テキスト案の更新

入力文書: 4C/584(エジプト)、655(フランス)、667(Sateliot)、680(米国)、698(EBU)

出力文書: 4C/TEMP/166

Method の構成整理について

- エジプトやアメリカ等の主張を受け、Method を周波数帯ごとに整理し直すことが合意された。具体的には、各帯域において「Method A(変更なし・NOC)」「Method B(LDR-MSS を一次分配)」「Method C(LDR-MSS を二次分配)」の構造とすることとなった。

未合意のパラメータと保護基準について

- PFD マスクや EIRP などの値について、現時点ではすべての検討が完了していないことから、具体的な数値は「TBD」または角括弧を付して次回会合で議論する提案がされ合意された。

RR 第 9.21 条手続きに関する議論

- 日本から、LDR-MSS の定義が合意されていない現状で Sateliot の提案する RR 第 9.21 条(他国との合意要件)を条件とする脚注の運用は困難であり、CPM テキスト案に含めることに反対する旨の懸念が示されたが、ノルウェー・Omnispace 等より、(規制条件案を含めることについては問題ないとの意見があり)、該当箇所には角括弧が付され、継続検討となった。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/166)

5.3.2.3. 作業計画の更新

入力文書: 4C/528 Annex 7(WP4C)

出力文書: 4C/TEMP/168

- SWG 議長により、CPM テキストの作業ステータスを更新作業へ更新するなど、現状の実態に合わせて作業計画の記述が修正された。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/168)

5.3.3.WRC-27 議題 1.13 関係

SWG 4C1b において、Alexander Pastukh 氏(ロシア連邦デジタル発展・通信・マスコミ省、ロシア)が議長を務め、作業文書(共用検討)及び CPM テキスト案、他 WP ならびに ATIS(3GPP、WG4C1 で議論)へのリエゾン文書について審議した。入力文書数が多かったため文書紹介が 4 月 22 日から 28 日(土曜セッション含む)に行われたのち、以下の詳細議論は 28 日から 30 日のセッションで行われた。

【主な検討案件と審議結果】

1. CPM テキスト案に向けた作業文書については検討対象となる周波数帯が多岐にわたり、また入力文書も 16 件と多いことから、統合版の作業文書全体を議論することは出来ず、主に DC-MSS-IMT の運用コンセプトに関連する一部のセクションについてのみ、簡易的なレビューが行われた。当該内容については、本作業分書の導入部分またはANNEXのいずれかに反映すべきであるとの認識で一致したものの、現時点ではどこに反映するかについては合意には至らなかった。Background セクションについて、複数提案が併記される中での逐条レビューの非効率性を指摘し、SWG・共同議長による改良版の作成を求めた。これに対し SWG 議長は、現時点での合意は困難であるとして、オフラインで改良版の作成を行い次回会合で再審議する方針を提示し、多くの国から支持され合意された。最終的に統合版作業文書には、本文は未合意である旨を明記した上で議長報告に添付されたが、入力文書紹介時の質疑ならびに抽出された論点についても整理が行われ議長報告の本文に掲載されることとなった(提案されたメソッドと決議の整理表についてはShare Pointに保存された)。
2. 共用検討については、各国からの入力文書紹介の後、DG-SHARING(共用検討)において詳細議論を実施した。DG-SHARING では、各周波数帯の共用検討結果及び干渉シナリオ並びに評価条件等について議論が行われ、特に Enabler Table 作成に伴う各国の入力条件の差異の取扱い、端末からの干渉の扱い及び高調波のスコープ等について意見が分かれた。これらについては、未合意事項は角括弧付きで記載することで、作業文書は議長報告に添付され継続検討となった。
前回設立されたDG-CONCEPTS(機能・コンセプト説明)は今回設立されず、作業文書は議長報告に添付され継続検討となった。リエゾン文書の検討については、

WP5D へのリエゾン文書を中心に議論が行われた。共用検討に関する前提条件や技術的パラメータの記載内容について、詳細な記述を求める意見と限定的な記載に留めるべきとする意見が対立したことから、未合意部分を角括弧付きで残した形で整理され、WG4C1、Plenary へ上程され継続議論となったが合意できず、リエゾン文書は送出されなかった。

5.3.3.1. CPM テキスト案に向けた作業文書の更新

入力文書: 4C/554 (日本、フランス), 555 (韓国), 560 (ロシア), 600 (ナミビア、南アフリカ), 609 (オーストラリア), 610 (ブラジル), 627 (IAFI), 628 (メキシコ), 629 (メキシコ), 641 (日本), 645 (日本), 671 (GSMA), 695 (アメリカ), 707 (カナダ), 725 (中国), 739 (ドイツ)

出力文書: 4C/TEMP/169

- CPM テキスト案に向けた作業文書の更新については、SWG4C1b 議長とともに本件を扱う共同議長として福井 裕介氏(KDDI、日本)が選出された。時間の制約もあり今会合では DG-CONCEPTS(KDDI 福井氏が議長)の開催は見送り、CPM テキスト更新を行うことが優先されたため、共同議長として SWG4C1b 議長をフォローすることとなった。
- 前回までは、日本からの入力文書が 1 件あったが、議論されず継続議論となっていた。
- 入力文書の紹介と並行する形で、入力文書を元に SWG4C1b 議長及び共同議長のもとでドラフトされた統合版作業文書及び補足資料(提案されたメソッドと決議の整理表、入力文書紹介時の質疑ならびに抽出された論点)、が提案者にメールにて回付され、非公式にレビューが行われた。
- 4/29(水)に開催された SWG4C1b において(2 セッションのみ)、統合版作業文書及び補足資料が SWG で議論された。

統合版作業文書の 2 章 用語定義の規定する場所(CPM テキスト本文、ANNEX もしくは補足資料)に関し各国の見解が分かれ合意に至らなかった。定義の未合意性への懸念と、検討に不可欠との必要性の両面から意見対立が継続した。将来の参照性確保の観点から保持する場所を検討することを前提に、継続議論することとなった。

- 統合版作業文書の 3 章 共用・両立性に関する記述については、米国からの提案である議題 1.13 と議題 1.15 の周波数帯の重複に関するテキストについて、イランから記述が不明確であるとして簡略化された文が提案されたが、米国は原文の維持を主張し、双方の提案が併記される形となった。
- 統合版作業文書の 3.1 章 DC-MSS-IMT の機能に関する検討結果に関する記述については、フランスから本章は「検討結果」と題しながら実質的には DC-MSS-IMT のシステム説明に過ぎず不整合であり、かつ Background 章と内容が重複しているため削除すべきと主張された。さらに、越境運用や規制遵守の記述も本章ではなく共用・両立性検討で扱うべきと指摘した。これに対しイランは、有用な技術情報を含むため削除ではなく精査と合意が必要とし、Editor's note の追加を提案した。共同議長(福井氏)は当該内容がコンセプト文書由来であり CPM テキストへの包含を提案したが、完全な検証は未了と説明した。最終的に、検証・Background との整合・配置

検討の 3 要素を含む Editor's note に集約され、継続審議となった。

- Background セクションの扱いについては、複数提案の統合方法を巡り議論が行われた。ブラジルは、スコープ説明の重複を避けるため構成の整理を提案した一方、トンガは逐条レビューの非効率性を指摘し、SWG・共同議長による改良版の作成を求めた。これに対し SWG 議長は、現時点での合意は困難であるとして、オフラインで改良版の作成を行い次回会合で再審議する方針を提示し、多くの国から支持され合意された。
- 決議構造(単一決議／複数決議)については、過去の WRC では複数決議が一般的であることを踏まえ慎重な検討を求めるとともに、決議こそが最も重要な成果であるとして議論の優先順位を強調した。一方で、SWG 議長は単一決議を支持する国が多数派との認識を示しつつも、ドイツ及びカナダからは条件付きでの単一決議容認や、現時点では複数案を維持すべきとの立場が示された。また南アフリカは既存の事例を踏まえ複数決議を支持するなど、当該部分についても結論には至らず、複数案併記の状態が維持された。
- 保護基準の扱いについては、MSS 保護基準の反映方法に関してサモア及び南アフリカから具体的な記載を求める意見が示されたのに対し、米国から当該基準は前提条件として整理し、詳細は別途検討結果を要約して反映すべきと主張した。ブラジルは議論の整理のためセクションごとのレビューを提案するなど、記述方法に関しても統一には至らなかった。
- 統合版作業文書の作成、構造整理は進展したものの、主要論点において各国の見解の相違が解消されず、多くの箇所が Editor's Note 又は角括弧付きのまま議長報告に添付され、次回会合において継続検討することとなった。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/169)

5.3.3.2. 共用検討に関する作業文書の更新

入力文書: 552 (イラン), 561 (ロシア), 562 (ロシア), 563 (ロシア), 564 (ロシア), 568 (モルディブ), 569 (ドミニカ), 574 (インド), 576 (インド), 577 (SES), 580 (CRAF/SKAO), 581 (CRAF/SKAO), 582 (CRAF/SKAO), 583 (CRAF/SKAO), 586 (SKAO), 587 (CRAF/SKAO), 588 (BT/Orange), 589 (Orange), 597 (CEPT), 598 (ナミビア), 599 (南アフリカ), 603 (サウジアラビア), 604 (ドイツ), 607 (Spark NZ), 611 (ブラジル), 612 (ブラジル), 613 (ブラジル), 614 (ブラジル), 615 (ブラジル), 616 (ブラジル), 617 (ブラジル), 618 (ブラジル), 619 (ブラジル), 620 (ブラジル), 621 (ブラジル), 622 (ブラジル), 623 (ブラジル), 624 (AST), 631 (ESA), 632 (パプアニューギニア), 633 (パプアニューギニア), 639 (日本), 640 (日本), 642 (日本), 643 (日本), 644 (日本), 646 (日本), 647 (日本), 648 (日本), 649 (日本), 650 (日本), 651 (日本), 652 (日本), 653 (日本), 664 (フランス), 666 (Ericsson), 670 (チュニジア), 672 (ナイジェリア、セネガル), 673 (ナイジェリア), 687 (米国), 689 (米国), 690 (米国), 691 (米国), 692 (米国), 693 (米国), 694 (米国), 696 (米国), 700 (米国), 701 (米国), 704 (Viasat), 706 (Viasat), 714 (中国), 715 (中国), 716 (中

国), 717 (中国), 718 (中国), 719 (中国), 720 (中国), 721 (中国), 722 (中国), 723 (中国), 724 (中国), 727 (中国)

出力文書: 4C/TEMP/170

- 前回までは、DG-CONCEPTS 及び DG-SHARING に分かれて詳細議論を実施していた。DG-CONCEPTS では、DC-MSS-IMT システムの定義、カバレッジエリア (remote/underserved area、災害時の補完等)、単一/複数システムからのビーム照射、ビーム配置、MIMO やハンドオーバー等の技術要素、Annex の構成・用語統一などが議論されたが、議長報告に添付され継続議論となっていた。DG-SHARING では、各周波数帯の共用検討結果が文書のやり取りによる質疑応答内容を含めて作業文書にまとめられ、さらに各共用検討のパラメータや条件等を比較した表についても議論し、表の構成や記載内容の明確化の議論を行ったが、議長報告に添付され継続議論となっていた。
- 本会合における作業文書の更新も、DGが設立されたが、DG-CONCEPTS は設立されず、DG-SHARING における共用及び両立性検討を中心に実施された。DG-SHARINGの議長には、前回DG議長を務めた Tan Wang 氏が参加できなかったため、Wang Xiaolu 氏(中国)が選出された。
- 寄与文書が多く、寄与文書紹介時の質疑応答に十分な時間が確保できないことから、前回同様に質疑については文書として残す形式となった。それぞれの質疑に対する応答は文書内で回答を行い、それらを作業文書に Editor's Note として残し、質問者及び回答者双方が合意して解決したものから削除していく方針となった。
- DGでは各周波数帯における干渉シナリオについての議論が行われた。また、評価条件及びパラメータの整理が進められ、各国からの寄書に基づく共用検討結果を比較整理した Enabler Table の更新が主な作業として行われた。
- 作業文書本文 3.2 節に掲載されている干渉シナリオの組み合わせ表について、海上シナリオ等のユーザ端末(UE)からの送信に起因する干渉の取扱いについては、日本やインド等が現実的な干渉評価にはUEを含めることが必要であると主張したのに対し、ロシアや米国、ドイツ等から当該事項は IMT 側の検討対象であり本議題のスコープ外とすべきと主張し、意見が対立した。このため当該記述は合意に至らず、角括弧付きで維持されることとなった。
また、第 2 高調波及び第 5 高調波による影響については、SKAO 等が検討対象として扱うことを提案したのに対し、第 2 次高調波はロシア等からの他の共用検討と同列に扱うべきではないといった指摘に対してドイツ等の一部から決議 253 を参照して検討対象として含めるべきといった反論があった。一方、第 5 次高調波についてはイランからも検討対象とすべきではなく表から削除すべきといった反対意見が多数あり、当該論点についても結論には至らず、第 2 次高調波及び第 5 次高調波のシナリオは別表として残されることとなった。
- Enabler Table については各国条件を併記し、条件差異を明示する形で整理することとなった。イランから、各寄書提出者に対し、Enabler Table が埋まり次第、各検討を横断的に比較して前提条件の差異を特定し、差異が生じた理由を整理するよう求めるべきと提案があり、各国は検討と他の検討とを横断的に比較し、既存業務ごとに主要な前提条件の差異および結果の違いの要因を確認することとなった。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/169)

5.3.3.3. リエゾン文書の検討

入力文書: 4C/641(日本)

出力文書: 4C/TEMP/174

- リエゾン文書については、前回 2025 年 10 月に WP5D からの技術的質問に対する回答をリエゾン文書として発出したが、内容は引き続き検討中としていた。
- 今回は、WP5D へ回答した内容のアップデートが議論された。具体的には、前回合意に至らなかった WP4C での作業進捗、WP5D が求めるビーム配置、アグリゲーションファクター、越境運用等の情報提供を目的として、日本提案を元にして議論が行われた。
- リエゾンの必要性及び記載内容について、ブラジルから前回リエゾンとの重複を踏まえ送付必要性自体を再検討すべきと指摘があった。
- ビーム配置については、ロシア、ブラジル、南アフリカ等が既存リエゾンとの重複部分の削除・簡素化を主張しつつ、主管庁責任や MNO-SNO 関係の記述には一定の必要性が認められたが、具体的実装が未確定として未合意となった。
- アグリゲーションファクターについては、ドイツ、ブラジル等が具体値提示に反対し削除を主張したのに対し、イランは情報通知の必要性を主張、トンガや日本等は今回の会合でアップデートされた検討範囲の通知は可能といった意見を主張して対立し、未合意となった。
- 最終的に SWG レベルで合意されず、未合意部分は角括弧付きで WG4C1 へ上程のうえ、議論することとなった。

<審議結果>

- WG4A1、プレナリでも議論が継続し、ビーム配置やアグリゲーションファクターに関しては合意が得られたが、越境運用に関する内容で合意できずに時間切れとなり、リエゾン文書は送出されなかった(TEMP/174)。

5.3.4.WRC-27 議題 1.14 関係

Jennifer Manner 氏(米国)が議長を務め、WRC-27 議題 1.14(2GHz への MSS 追加分配)について審議した。

【主な検討案件と審議結果】

- 共用両立性検討に関する作業文書の更新について、各国より入力された寄与文書に基づき、MSS と既存業務との共用両立性検討結果を整理・比較するための「Enabling Table」が作成された。提案された検討内容については作業文書に統合され、次回会合にて議論することとなった。作業文書には、日本提案の HAPS との共用検討内容も反映されている。
- CPM テキスト案の更新について、各セクション提案内容の統合とレビューが進捗した。4 章 Method to satisfy the agenda item の項においては、既存業務の保護に関して、「有害な干渉を与えない」などの条件を追記することが合意された。本作業文書も、次回会合に持ち越し議論されることとなった。
- 作業計画は、次回会合が CPM テキスト案を完成させる前の最終会合となることを踏まえ、各作業文書の「最終化を進める」という明確な方針が合意され、更新された。

5.3.4.1. 議題 1.14 に係る共用両立性検討に関する作業文書の更新

- 共用両立性検討に関する作業文書の更新にあたっては、SWG 配下に DG を設け、検討結果を比較・整理するための「Enabling Table」の作成および統合作業文書の更新が行われた。DG 議長は中国の Jing Chen 氏が選任された。
- 「Enabling Table」が作成されました。この表は、議題 1.14 が対象とする 3 つの周波数帯(2010–2025 MHz, 2160–2170 MHz, 2120–2160 MHz)ごとにシートを分け、MSS と既存業務(FS, MS, PMSE, HAPS, SOS 等)との同一周波数帯・隣接周波数帯における共用・両立性検討の結果(必要離隔距離など)を一覧化するものとして作成された。
- 議論においては、各国より内容の正確性と比較可能性を高めるためのコメントが多数行われた。特にイランより、各提案の主体(国・組織)の明記、「N/A」や空欄の意味の明確化、前提条件が異なる研究結果の単純比較への懸念を表明、米国より、モンテカルロ・シミュレーションと静的解析が混在している点が指摘され、IMT 関連の検討におけるスナップショット数の明記や、使用されている伝搬モデル(P.452, P.2108 等)のバージョン統一の必要性を主張した。これらについて、DG 議長から、提案者が不足情報を補完する必要がある、引き続きテーブルを改善していく方向性が示された。
- 共用両立性検討の作業文書更新においては、中国やルクセンブルクなどが提案した IMT や PMSE との共用検討において、米国・ロシア等よりシミュレーション条件(時間、ステップ間隔)の妥当性、保護基準(I/N 比)と時間率の仮定、アンテナモデルの適用方法、クラッタ損失の扱いの適切性など、技術的な課題が示され、提案者がオフラインで回答を準備し、作業文書 2 章 Open Issues/Clarifications に Q&A として纏められた。
- 日本提案の HAPS と MSS の共用検討については、特段議論なく作業文書へ反映された。

<審議結果>

- WG4C1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/163)

5.3.4.2. 議題 1.14 に係る CPM テキスト案の更新

入力文書: 565 (ロシア), 658 (フランス), 702 (アンゴラ, ボツワナ, コモロ諸島, コンゴ, エスティワニ, ケニア, レソト, マダガスカル, マラウイ, モーリシャス, モザンビーク, ナミビア, セーシェル, 南アフリカ, 南スーダン, タンザニア, ウガンダ, ザンビア, ジンバブエ)*, 708 (カナダ),

[*]は 本 SWG に割り当てられたが Ad Hoc Group MSS PC で扱われたもの

出力文書: 4C/TEMP/165

- 入力文書を元に頭語文書が作成され、審議が行われた。ロシア提案の「3/1.14/1 Executive summary」と「3/1.14/3 Summary and analysis of the results of ITU-R studies」、カナダ提案の「3/1.14/2 Background」部分が、特

に異論なく合意された。

- 「3/1.14/4 Methods to satisfy the agenda item」については、No change に関する部分については特段の問題なしと確認されたが、「既存業務から保護を要求しない(not claim protection)」という条件について、米国・サモア・Omnispace より、既存サービス保護や隣接帯域保護、co-primary との整合性の観点で懸念が示されたことから、SWG 議長より、文章全体が角括弧であることを踏まえつつ、当面の文言として「有害干渉を与えない(shall not cause harmful interference)」等の趣旨を角括弧で追記・保持する方向を示し、特段意義なく合意された。
- regulatory and procedural consideration に記載されている MSS 保護基準に関するテキストについては、米国およびロシアから CPM テキストに入れる必要がないとの指摘があり、当該テキストは削除された。
- 文書冒頭の免責事項(本作業文書は各入力文書のコンパイルであり合意文書ではない)について、議長が「2025 年 10 月会合に加え、2026 年 4 月会合も反映する」方向での更新案を提示し、合意された。
- BR(無線通信局)からは、規制関連テキストの反映方法、特に「no change」の表現や Method 番号の付け方について、ITU-R のガイドラインを参照するよう注意喚起があり、作業文書の更新時に反映することが確認された。

<審議結果>

- WG4C1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/165)

5.3.4.3. 作業計画の更新

入力文書：なし

出力文書：4C/TEMP/164

- SWG 議長より、次回会合(2026 年 10 月予定)が CPM テキスト案を完成させる前の最後の会合となることが言及され、今会合で議論された内容を反映させるとともに次回会合に向けて最終化を進める方針が共有された。この方針に基づき、DG および SWG での進捗が作業計画に反映された。
- 最終的に、これらの議論内容を反映し、不要となった note などを削除し、作業計画が更新された。

<審議結果>

- WG4C1、プレナリでは特段意見無く承認され、議長報告書に添付され継続審議となった。(TEMP/166)

5.3.5.MSS 保護基準

AHG MSS Protection Criteria において Xi Meng 氏(中国)が議長を務め、WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 に係る共用・両立性検討に適用する MSS 保護基準及び ITU-R 勧告 M.1183 改訂の可能性について審議した。

- 【主な検討案件と審議結果】

1. WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 に係る共用・両立性検討に適用する MSS 保護基準について検討したが、単一の保護基準に合意することはできなかった。そのため、各主管庁が技術的根拠を示した上で選択した保護基準を用いて共用・両立性検討を実施できるとする方針を記載し、各議題で実施された共用検討において用いられた保護基準及びその根拠をまとめた文書が WP4C 議長報告に添付された。
2. ITU-R 勧告 M.1183 改訂については、改訂の必要性を認識する意見が示されたものの、WRC-27 議題に関する保護基準の検討を優先する観点から、改訂勧告草案に向けた作業文書を議長報告に添付して持ち越し、WRC-27 後の次研究会期において検討を継続する方向で合意した。

5.3.5.1. WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 に係る共用・両立性検討のための MSS 保護基準の検討

入力文書:4C/528 Annex 17、570(サモア)、592(英国)、661(フランス)、662(フランス)、676(ナイジェリア)、688(米国)、702(南アフリカ等アフリカ諸国)、703(ドイツ)

出力文書:TEMP/154

- 前回の WP4C 会合では、WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 に適用する MSS 保護基準について複数案が併記された文書が作成されたが、合意には至らず、同文書が今回 WP4C 会合に持ち越されていた(4C/528 Annex 17)。
- 今回の WP4C 会合では、①WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 の共用・両立性検討に適用する MSS 保護基準の検討、②ITU-R 勧告 M.1183 改訂の可能性の検討、③これらに関する作業文書の作成を行うことに合意した。なお、ITU-R 勧告 M.1183 改訂の検討は、まず WRC-27 議題に関する保護基準の検討を優先し、その後合意が得られた場合に実施することとされた。
- 前回の会合から持ち越された文書(4C/528 Annex 17)のほか、8 件の寄与文書が審議された。MSS 保護基準に関する提案は、大きく以下の見解に分かれた。

表 5 MSS 保護基準に関する提案(2026 年 4～5 月会合)

	概要	提案国	シングルエン トリーI/N	アグリゲー ト I/N	可用時間率
Option 1	ITU-R 勧告 M.1183 に基づく 保護基準を維持	英国(592)、南 アフリカ等複数 国(702)、サモ ア(570)	-11.25 dB 又は -12.2 dB	-6 dB	99.9%
	ITU-R 勧告 M.1183 を基準に 用途別の時間率を 適用	フランス(661、 662)、米国 (688)			フランス:被保 護システム側 が時間率を設 定 米国:安全業務 は 99.9%、非 安全業務は 80%

	ITU-R 勧告 M.1183 に基づく アグリゲート I/N を維持、シングルエントリー I/N の検討はケースバイケースで行う	ドイツ(703)	ケースバイケース	-6 dB	安全業務は 99.9%、非安全業務は 80%
	シングルエントリーとアグリゲート双方に同じ I/N を適用	ナイジェリア (676)	-6 dB		安全業務は 99.9%、非安全業務は 80%
		トンガ(前回会合での作成文書 (4C/528 Annex 17))	-3 dB		80%
Option 2	統一基準なし	前回会合での作成文書 (4C/528 Annex 17)	各提案者が技術的根拠を示した上で保護基準を選択		

- Option 1 に関する諸提案についてオフライン議論が実施されたが、単一の保護基準に関する合意は得られなかった。そのため、各提案者が選択した保護基準を用いて共用検討を実施し、その技術的根拠を併せて示す Option 2 を採用する方向で合意した。出力文書としては、各議題における共用検討で使用された保護基準及びその根拠を整理した表を含む WP4C 議長報告の要素を作成した。

<審議結果>

- AHG では単一の MSS 保護基準に関する合意には至らず、WRC-27 議題 1.11～1.14 に関する既存 MSS との共用・両立性検討については、ITU-R 勧告 M.1183 に基づく保護基準又は主管庁が技術的根拠を示して選択した保護基準を用いて共用検討を実施できる旨を記載した文書(TEMP/154)、及び各議題の各検討シナリオで適用された MSS 保護基準及びその技術的根拠をまとめた文書(TEMP/155)を作成した。WP4C プレナリにおいても大きな議論なく承認され、両添付文書の内容を統合した文書(4C/477 Annex 22)が WP4C 議長報告に添付された。なお、今後新たな共用検討結果が提出された場合は、同文書を更新することで合意した。

5.3.5.2. ITU-R 勧告 M.1183 改訂の検討

入力文書:4C/593(英国)、686(米国)

出力文書:4C/TEMP/148

- 前回 WP4C 会合では、MSS ネットワークが他の MSS ネットワーク及び FSS ネットワークから受ける干渉の許容レベルを示す ITU-R 勧告 M.1183 を改訂する提案がトンガ(4C/486)及びドイツ(4C/489)から入力されたが、上記 WRC-27 議題における検討に用いる MSS 保護基準の検討に集中したため、議論されなかった。
- 今回の会合では 2 件の寄与文書が審議された。英国(593)は、現行の ITU-R 勧告 M.1183 が主として GSO MSS システムを前提としていることを踏まえ、NGSO MSS システムにも適用できるよう勧告を改訂することを提案した。一方、米国(686)は、ITU-R 勧告 M.1183 は 1995 年に策定されたものであり、特に、NGSO MSS の普及を踏まえ、保護基準、シングルエントリーとアグリゲート基準の関係、干渉の時間率の扱いについて再評価が必要であると主張した。

- 議論の結果、多くの主管庁は ITU-R 勧告 M.1183 の改訂が将来的には必要となる可能性を認めたものの、現時点では WRC-27 議題 1.11、1.12、1.13 及び 1.14 に関する MSS 保護基準の検討を優先すべきであるとの認識で概ね一致した。また、同勧告の改訂については、今研究会会期中に具体的な改訂内容に関する合意を得ることは困難であり、WRC-27 後の次研究会会期において検討を継続すべきとの意見が多く示された。

<審議結果>

- ITU-R 勧告 M.1183 改訂に向けた提案として各提案を併記した文書を作成し、当該文書は将来的な改訂に向けた初期的な検討材料であり、その内容について合意されたものではなく、WRC-27 後の次研究会会期に寄与文書に基づき検討を進めることが期待される旨を注記した(TEMP/148)。WP4C プレナリにおいては、次回会合以降に持ち越す文書として特段の議論なく承認された。

5.3.6.Rec. M.1184-3

DG M.1184 で議論され、Kamlesh MASRANI 氏(イギリス)が議長を務め、ITU-R 勧告 M.1184 の勧告改訂草案について審議した。

【主な検討案件と審議結果】

DG M.1184 において、ITU-R 勧告 M.1184-3 の改訂草案について審議を行い、一部修正を加えた上で、勧告改訂案への格上げを提案することで合意した。その後、SWG 4C1 での審議を経て、最終的に WP4C の Plenary において勧告改訂案として合意され、SG4 に上程されることとなった。

入力文書: 4C/736(中国)

出力文書: 4C/TEMP/162

- ITU-R 勧告 M.1184-3 は、移動衛星業務(MSS)と他業務との周波数共用の条件を検討するために用いる、3GHz 以下のMSSシステムの技術的特性等を提供する勧告である。
- 本 WP4C 会合期間中、DG は 2 回開催された。初回の DG では、中国が寄与文書(4C/736)の説明を行い、前回の WP4C 会合において MSS システムの技術的特性の更新は既に完了していることを踏まえ、ITU-R 勧告 M.1184-3 の改訂草案を改訂案に格上げすることを提案した。
- その後、勧告改訂草案の内容について審議が行われ、各種 MSS システムの技術的特性をまとめた Annex1 と Annex2 の確認が行われた。この審議において、トンガは、Table 1Bの「許容干渉レベル(Maximum permissible levels of interference power)」の行に具体的な値が示されていないこと、また保護基準は ITU-R 勧告 M.1183 で扱われており勧告 M.1184 の所掌範囲外であることを理由に、当該項目の削除を提案した。本提案は、特に異論はなく合意された。
- 続いて勧告改訂草案の本体部分の審議が行われ、イランは、今後の更新を義務付ける *recommends* 3 の記載について、勧告改訂は寄与文書による提案に基づくべきものであり、勧告自体がその改訂を義務付けるべきではないとして、削除を強く主張した。一方、AST は、本項は現行勧告に記載されていることを理由に、削除に反対した。WG4C1 議長は、本勧告改訂の議論は長期化しており、これ以上の遅延は適当ではないことから、議論の進展のためにも *recommends* 3 を削除しても良いとの見解

を示した。さらにイギリスは *recommends 3* が無くとも勧告改訂は可能であり、MSS システムの技術特性の更新に応じて随時改訂すればよいとの考えを示し、日本、トンガ、カナダがこれを支持した。

- 一方、カナダは、*considering b)*の”that MSS system designs will evolve and new MSS systems may be proposed and therefore representative characteristics should be maintained as an on-going activity,”の下線部分の削除を提案したが、AST は *recommends 3* の削除は妥協して受け入れる代わりに、*considering b)*は現状維持とすることを求めた。最終的に、*considering b)*は現状維持とし、*recommends 3* は削除することで合意した。
- またカナダは、*considering a)*に含まれる”and for development of appropriate sharing criteria”の削除を提案し、これについても合意された。
- 以上の議論の結果、DG から上位会合に対して、勧告改訂案への格上げを提案することが合意された。その後、SWG 4C1 での審議を経て、最終的にWP4C の Plenary において勧告改訂案として合意され、SG4 に上程されることとなった。

5.3.7.RDSS/RNSS

SWG 4C2b で議論され、Tom Hayden 氏(米国)及び Dmitry Aronov が共同で議長を務め、RNSS 関係について審議した。

【主な検討案件と審議結果】

1. ITU-R 勧告 M.1787 の改訂について、UAE の LEONAV の特性を追加し、前回 WP4C 議長報告に ITU-R 勧告改訂草案として添付されていたインドのシステムの特性と共に、ITU-R 勧告改訂草案の更新の出力が合意された。
2. 1 215-1300MHz における EESS(active)及び RNSS の共用可能性について、WP7C のまとめた ITU-R 報告 RS.2566 の支持する返信を行う WP7C へのリエゾンを出力した。
3. 5 030-5 091 MHz 帯 AM(R)S から 5 010-5 030 MHz 帯の RNSS の保護について、5010-5030MHz 帯 RNSS システム特性をまとめた ITU-R 勧告 M.2031 改訂状況を連絡し、現在の WP5B における 5 030-5 091 MHz 帯 AM(R)S の検討において現在は同一周波数帯内の共用検討のみであるが、RR 第 5.443C 号に関連した 5 010-5 030 MHz 帯の RNSS の保護を将来的に検討していく計画はあるかについて質問するリエゾン返信を出力した。
4. 決議 609(WRC-07 改)関連の検討について、single-system epfd 値低減方法や aggregate epfd 制限値に対する個々の single-system epfd 値の影響を検討した作業文書を更新し、新 ITU-R 報告草案 M.[RES.609]として議長報告へ添付することとなった。また、勧告 608(WRC-07 改)中の pfd レベルの妥当性に関する検討を開始することの提案があり、作業文書 M.[RES.609-FURTHER]として議長報告へ添付することとなった。
5. WRC-31 議題 2.9 の検討について、作業文書を更新し、議長報告へ添付した。作業文書中に、検討対象周波数帯として、VHF, UHF, L, C が記載されている。

5.3.7.1. ITU-R 勧告 M.1787 の改訂

入力文書: 4C/528 Annex 21、546 (UAE)、575(IND)

出力文書: 4C/TEMP/146

- ITU-R 勧告 M.1787 は、L 帯 RNSS の特性を収録しており、近年の各国の RNSS システムの高度化や新規システムの計画等のため、既存のシステム情報の更新や新システムの情報の追加等を行い、前回 WP4C 会合にて、ITU-R 勧告改訂案 M.1787 として SG4 へ送付し、仮採択の後に承認されている。但し、前回会合において、インドの衛星測位システム NavIC の追加特性について、インドから入力文書がなかったため、ITU-R 勧告改訂草案として NavIC の追加特性が WP4C 議長報告へ添付されていた。
- 今回 WP4C 会合へ、UAE からの入力(4C/546)にて、LEONAV のシステム追加の情報の提案、及び、インドからの入力(4C/575)にて前回 WP4C 会合議長報告に添付されていた NavIC の追加特性と全く同じ情報で ITU-R 勧告草案とする提案が行われた。
- 上記の入力に基いた審議において、インドが「今回 WP4C 会合から ITU-R 勧告改訂案として SG4 会合へ送付することを提案する」と発言して議論となった。米国及びフランスが「入力文書には ITU-R 勧告改訂草案とのみの記載があり、ITU-R 勧告案とする提案も SG4 へ送付する提案もない。また、今回 WP4C 会合から SG4 へ送付する緊急性もない」と懸念と示し、ITU-R 勧告改訂草案として WP4C 議長報告へ添付することとなった。
- また、インドの NavIC の追加特性の記述中に 2483.50-2500MHz 帯の特性の記述があり、ITU-R 勧告 M.1787 のスコープは L 帯に限定されているため、この扱いについて議論となった。UAE のシステム LEONAV は、2483.50-2500MHz 帯も有しているが ITU-R 勧告 M.1787 のスコープを理解して 2483.50-2500MHz 帯の特性の記載を提案していないこととの整合性の必要性も考慮すべきとの意見も出た。議論の後に、ロシア提案に基づき、2483.50-2500MHz 帯 RNSS システム特性をまとめる ITU-R 勧告作成作業を別途開始する方向性について合意され、その点を ITU-R 勧告草案 M.1787 中に Editor's Note として記載することとした。

<審議結果>

- ITU-R 勧告 M.1787 改訂作業において、インドの RNSS システムの情報更新及び UAE の RNSS システムの情報追加を反映して、ITU-R 勧告改訂草案 M.1787 (4C/TEMP/146)として次回 WP4C 会合以降で審議を継続することとした。

5.3.7.2. 1 215-1 300 MHz における EESS (active) 及び RNSS の共用可能性に関する検討

入力文書: 4C/547 (WP7C)、681(USA)

出力文書: 4C/TEMP/143

- 1215-1300MHz 帯における EESS(能動)から RNSS へのパルス干渉について、1215-1300MHz 帯における複数 EESS(能動)から RNSS 受信機への aggregate 干渉計算例を ITU-R 報告 M.2305 中に明示的に示す情報を追加する改訂作業が前回 WP4C 会合で完了し、ITU-R 報告改訂案 M.2305 として SG4 へ送付された後に承認されていた。前回 WP4C 会合にて、ITU-R 報告 M.2305 の改訂作業完了を WP7C ヘリエゾンにて連絡し、WP7C において行われている同様の検討の新 ITU-R 報告草案 RS.[AGG_EESS_SAR-EESS]の作業においては ITU-R 報告 M.2305 の改訂結果と矛盾を避けることを求めるコメントを行っていた。
- WP7C からのリエゾン(4C/547)において、新 ITU-R 報告草案 RS.[AGG_EESS_SAR-EESS]の作業が完了し、新 ITU-R 報告案として SG7 へ送付されて承認された(その後、ITU-R 報告 RS.2566 として番号付与)ことが連絡された。米国からの入力(4C/681)に基づき、この ITU-R 報告 RS.2566 の内容は、ITU-R 報告 M.2305 の改訂と矛盾しないことを WP4C として確認したことの連絡を WP7C ヘリエゾンとして出力(4C/TEMP/143)した。

<審議結果>

- WP7Cへのリエゾン(4C/TEMP/143)を出力し、「WP7Cが作業完了したITU-R 報告 RS.2566 の内容は、WP4C にて検討が行われた ITU-R 方向 M.2305 の改訂内容と矛盾しないことを確認した」との連絡を行うこととなった。

5.3.7.3. ITU-R 勧告 M.2031の改訂

入力文書: 4C/528 Annex 22

出力文書: 4C/TEMP/145

- ITU-R 勧告 M.2031 は、5010-5030MHz 帯 RNSS システム特性及び受信機特性をまとめたものである。本勧告に対して、前回 WP4C 会合において、低軌道 RNSS システムとして下記の情報を追加する提案がなされ、勧告改訂に向けた作業文書として出力されていた。
 - ドイツ入力(米国企業 TrustPoint のためのドイツ主管庁の ITU ファイリング PAX-1 の衛星コンスタレーション情報及び送信信号特性)
 - 米国入力(Xona PULSAR の衛星コンスタレーション情報及び送信信号特性)
- この勧告中の他システムにおいては、受信機特性や保護クライテリア等まとめられているが、上記の提案にはこれらの情報は入っておらず、これらを含めた追加的な情報提示が 2026 年 4 月開催 WP4C 会合にて求められることが Editor's Note として記載されていた。

<審議結果>

- 今回 WP4C 会合における入力がなかったため、上述の Editor's Note の期日を

2026 年 10 月開催 WP4C に書き換える編集上の見直しのみを行い、ITU-R 勧告 M.2031 の改訂に向けた作業文書として出力(4C/TEMP/145)することが合意された。

5.3.7.4. 5 030-5 091 MHz 帯 AM(R)S から、5 010-5 030 MHz 帯の RNSS の保護

入力文書: 4C/538 (WP 5B)、683 (USA)

出力文書: 4C/TEMP/144

- WRC-12 において無人航空機用途を想定した 5030-5091MHz 帯 AM(R)S 分配が行われた際に、隣接の 5010-5030MHz 帯 RNSS との両立性検討が完了していなかったため、RR 第 5.443C 号に 5030-5091MHz 帯 AM(R)S 局から 5010-5030MHz 帯への放射に対する暫定的な e.i.r.p.密度レベルが規定され、将来的に関連の ITU-R 勧告制定がなされるまでこの暫定的なレベルの適用が求められることとなっていた。このため、WRC-12 後に WP4C から WP5B ヘリエゾン文書を複数回送付して 5030-5091MHz 帯 AM(R)S 局の技術条件の検討状況の連絡を求めているという経緯がある。
- 2025 年 4-5 月開催 WP4C 会合にて、RR 第 5.443C 号の見直しを意図した干渉検討を開始することの連絡が WP5B からリエゾン文書で入力され、WP5B における 5030-5091MHz 帯 AM(R)S 局の検討状況として新 ITU-R 勧告草案 M.[AM(R)S_AMS(R)S_CHAR_5GHz]に関する情報の共有、及び WP4C における 5010-5030MHz 帯 RNSS の最新情報として ITU-R 勧告改訂草案 M.2031 に向けた作業文書の情報の共有を、リエゾンにて相互に連絡してきている経緯がある。
- 今回 WP4C 会合へ、WP5B からのリエゾン(4C/538)にて、WP5B における新 ITU-R 勧告草案 M.[AM(R)S_AMS(R)S_CHAR_5GHz]に関する検討状況の更新の連絡があり、米国提案(4C/683)に基づき「新 ITU-R 勧告草案 M.[AM(R)S_AMS(R)S_CHAR_5GHz]は 5030-5091MHz 帯内の共有のみを扱っているようであるが、RR 第 5.443C 号の検討までスコープを広げる計画はあるか？」との質問を WP5B へのリエゾン返信(4C/TEMP/144)にて行うこととなった。なお、この WP5B へのリエゾンでは、WP4Cにおける ITU-R 勧告改訂草案 M.2031 に向けた作業文書の検討情報の共有も行われている。

<審議結果>

- WP5Bへのリエゾン返信(4C/TEMP/144)を出力し、「WP5Bにおける新 ITU-R 勧告草案 M.[AM(R)S_AMS(R)S_CHAR_5GHz]の検討のスコープは 5030-5091MHz 帯内の共有のみとなるか、RR 第 5.443C 号の検討まで広がるのか？」との質問を行うこととなった。

5.3.7.5. 決議 609(WRC-07 改)関連

入力文書: 4C/528 Annex 20、567 (BR)、635 (J)、657 (F)、684 (USA)、685 (USA)

出力文書: 4C/TEMP/150, 151

- 決議 609(WRC-07 改)に従い、1164-1215MHz 帯 RNSS は、同一周波数帯 ARNS 保護の目的のため、全 RNSS システムからの aggregate epfd レベルを制限値以下にすることを確認する会合を年1回実施している。近年の RNSS システム数の増加に伴い、制限値に対するマージンが切迫しているという背景があり、この解決に寄与することを目的として、2025 年 4-5 月 WP4C 会合への米国及びフランスからの提案に基づき、epfd 低減の方法検討(1 システム当たりの epfd 低減方法や aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法)を記載する作業文書の作成作業を開始し、2025 年 10 月 WP4C 会合にて内容の更新が行われていた。
- 今回 WP4C 会合へ、下記の入力となされた。
 - BR(4C/567): BR における勧告 608(WRC-07)に関する審査状況の説明の提供。RR の Appendix 4 の A.17.a にチェックがなされていないと 1164-1215MHz 帯 RNSS の ITU ファイリングの審査を受け付けないが、チェックのある ITU ファイリングが勧告 608(WRC-07)中の pfd レベルへ適合していなくても、その妥当性の説明次第では、unfavourable を与えることはないとの説明。
 - 日本(4C/635): 現在の文書中に独立して記載されている、米国提案に基づく第 3 章「1 システム当たりの epfd 低減方法」やフランス提案に基づく第 4 章「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」との間の関連性の記載の追記提案、及び、<前回 WP4C 会合にて米国が提案した「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」中に「total epfd footprint」の Step の追記>に対する疑義と議論の必要性の提起。
 - フランス(4C/657): 文書全体の編集上の見直し及び<前回 WP4C 会合にて米国が提案した「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」中に「total epfd footprint」の Step の追記>を削除する提案
 - 米国(4C/684): <前回 WP4C 会合にて米国が提案した「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」中に「total epfd footprint」の Step の追記>に対する編集上の見直し提案及び関連数値例の追記提案。
 - 米国(4C/685): 勧告 608(WRC-07 改)は全仰角で同一の pfd 値が適用されていることに疑義を示し、代替の案を検討開始する提案。単一衛星の全仰角で同一の epfd レベルを検討する案や、単一 RNSS システムでの最大 epfd 値を検討する案を提示。
- Benoit Louvet 氏(フランス:ThalesAleniaSpace)を議長とする非公式会合を設けて(注:DGではなく非公式会合の位置づけとした理由は、会合の出力として過去 WP4C 会合で審議してきた作業文書の更新のみとするのか米国提案(4C/685)に

基づく文書も追加するのかについて SWG でまとまっておらず、これらを含めて関係者で議論するという位置付けのため)審議が行われた。<前回 WP4C 会合にて米国が提案した「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」中に“total epfd footprint”の Step の追記>について最も大きな議論となり、米国は「equitable access のために 1164-1215MHz 帯全体を個々の RNSS システムがどれだけ占有しているかを見る必要がある」と説明したが、「議論が必要なのは決議 609(WRC-07 改)で求められている通り、各 1MHz 帯幅にて epfd レベルの制限値を超過可能性有無を検討して、どのように超過の可能性のある周波数範囲の epfd レベルを低減するかであり、個々の RNSS システムの 1164-1215MHz 帯の占有状況検討は epfd レベル低減に直接寄与しない」「equitable access と epfd レベル低減に有効な方法の検討を混同すべきではない」「追記として提示された数値が決議 609 の手続きを既に通過している RNSS システムが単体で epfd 制限値を超過しているかのような値になっており、大きな疑義がある」と韓国、日本、フランス、ドイツ、中国、ロシア、UAE 及び ESA が反対した。議論が繰り返された結果として、米国提案の“total epfd footprint”については本文書中に暫定的な添付資料を設けて関連情報を全てその中に記載(米国から、今回 WP4C 会合への米国寄与文書中にある追加情報の追記も行われた)して、次回 WP4C 会合以降で議論を継続することとした。また、この他、米国提案(4C/685)の勧告 608(WRC-07 改)の全仰角で同一の pfd 値の適用の見直し検討提案についても、「今後検討が必要な領域」として文書中に記載(当初は“total epfd footprint”も米国提案(4C/685)に基づく出力文書中に統合する議論も行われたが、米国が別文書に内容に移すことに反対した)することとした。また、前回 WP4C 会合において米国提案に基づいて記載されていた Editor's Note「1164-1215MHz 帯内を広く使用しないように促すべき」について、中国とフランスが「使用周波数帯幅はシステム毎に設計思想が存在し、帯域幅はシステム次第であるため、このように促すことは適当でない」と意見し、削除されることとなった。また、章構成についても議論となり、米国提案に基づく第 3 章「1 システム当たりの epfd 低減方法」やフランス提案に基づく第 4 章「aggregate epfd 制限値に対する超過が発生した場合に aggregate epfd 低減に有効な対象システムを識別する方法」との間の関連性をどのように明確化するかについて、米国とフランスの間で議論となったが、上述の日本提案を反映することでまとまった。また、フランスが作業文書から ITU-R 報告草案へ格上げすることを提案したが、

- 米国提案(4C/685)の勧告 608(WRC-07 改)の全仰角で同一の pfd 値の適用ではない代替の案の検討については、審議の時間がなく、内容の議論を行わずに、「審議を実施していない」ことを Editor's Note に記載して出力し、次回 WP4C 会合以降で審議を継続することとした。

<審議結果>

- 今後の WP4C 会合にて議論が必要な領域を多く残し、その一部として、米国提案(4C/685)の勧告 608(WRC-07 改)の全仰角で同一の pfd 値の適用の見直し検討の記載を行う等の文書の更新を行い、決議 609 における epfd レベル低減方法の議論をまとめた文書 M.[RES.609]を、作業文書として出力(4C/TEMP/150)して、次回以降の WP4C 会合で審議継続することとした。
- 米国提案(4C/685)の勧告 608(WRC-07 改)の全仰角で同一の pfd 値の適用ではない代替の案の検討については、審議の時間がなく、次回 WP4C 会合以降で審議を継続することを意図として、内容の議論を行わずに、「審議を実施していない」ことを Editor's Note に記載して、作業文書 M.[RES.609-FURTHER]として WP4C 議長報告へ添付(4C/TEMP/151)した。

5.3.7.6. WRC-31 議題 2.9 に係る検討

入力文書: 4C/528 Annex 25, 530(ICA0)、654(J)、663 (F)、682 (USA)、699(ESA)、738(CHN)

出力文書: 4C/TEMP/152

- WRC-31 暫定議題 2.9 として、[5030-5150MHz]及び[5150-5250MHz]帯(注:WRC-23 で本件が議論された際に周波数範囲の議論がまとまらなかったため、対象周波数範囲が[]付となっている)における RNSS 新規分配を検討することとなっており、周波数需要や関連の技術検討が、WRC-31 暫定議題2.9を支持する作業文書として出力されている。
- 今回WP4C会合へ、下記の入力がなされた。
 - ICAO(4C/530): 航空業務の周波数帯における RNSS 新規分配を WRC-31 議題とすることに反対する ICAO ポジションの紹介。
 - 日本(4C/654): 前回WP4C 会合へフランスが提案した 5GHz 帯にて RNSS を使用することの技術課題について、解決策が存在することを追記する提案、及び、4990-5000MHz 帯電波天文保護クライテリアに関する解析方法の追記提起。
 - フランス(4C/663):文書構成全体を見直す提案、RNSS 新規分配が必要であることの説明の追記提案、及び、候補周波数帯としてVHF帯及びUHF帯(注)の追記及びVHF帯及びUHF帯において記載されるRNSSの性能の追記提案。
注:但し、VHF 帯及び UHF 帯内の具体的な候補周波数範囲は記載無
 - 米国(4C/682): これまでの文書の記載に対する質問やコメントの提示。
 - ESA(4C/699): 文書構成全体を見直す提案
 - 中国(4C/738): 1GHz 帯より大きい周波数範囲における RNSS の使用は同じ衛星軌道高度では自由空間損失が大きくなるが、低軌道を使用するRNSSシステムでは地表面との距離が小さくなるため、自由空間損失の増加を補完可能であることの追記の提案、及び、5030-5250MHz 帯は RNSS の新規周波数帯としての利点はあるものの既存業務との両立性の検討は必要との記述の追加の提案
- DGを設置(DG議長 Piriou 氏(フランス))して審議を実施した。フランスと ESA の提案をベースに、作業文書の本文には概要的な記載のみとし、技術的詳細の記載は全て Annex に含めるという、文書構成の見直しを行った。
- 追加 RNSS 周波数帯の検討において、会合中の米国及び ESA の提案で 1151-1164MHz(注)の検討の記述が追加された。これに対してフランスが同一周波数帯 DME 保護の観点での懸念(1164MHz 帯より上の DME を 1164MHz 帯より下に移行中との説明もあり)を示し、日本及びESAから「1164-1215MHz 帯は決議 609 のプロセスで DME の保護が機能しているため 1151-1164MHz 帯でも同様に DME の保護が機能すると考えられるが、1164MHz の上と下での違いはあるか？」と質問したところ、フランスは今後の検討が必要との理由で当該テキストを[]付きとすることを求めた。

- 新しい章構成の第 8 章を議題を審議する周波数範囲として、その中に VHF, UHF, L 及び C 帯を記載(当初は L の記載はなかったが、ESA が L の追加を提案し、フランスが支持)することとなった。
- フランスが、RNSS の課題を記載する章にジャマーに関する課題を記載したため、議論となった。米国、ドイツ、日本、UAE、ICAO 及び ESA が「ジャマーは非合法であるのに、ジャマーを認知するかのような記述を ITU-R 文書に記載することは不適切」「記載されたジャマーは国内マターであり、ITU-R 文書における記載は不適切」として、削除または見直しを求めた。

注: 1151-1164MHz は WRC-2000 における RNSS 追加分配検討の議題における欧州共同提案中の周波数範囲の一部である。このため、RNSS で 1151-1164MHz 帯を使用することはこの時点では欧州内で合意されていた。

<審議結果>

- DG レベルでは文書全体を審議したものの、SWG レベルでは時間切れで文書の審議は途中までとなり、文書が十分に審議されなかったことをノートして作業文書(4C/TEMP/152)として出力した。

5.3.8.衛星通信技術ハンドブック

WP4C プレナリ直下に Ad-hoc Group Handbook(議長:Jeniffer Manner 氏(AST & Science SpaceMobile、米国))が設置され、WP4A で作成が進められている「衛星通信技術ハンドブック(ITU-R Handbook on Satellite Communication and Technologies)」のうち、WP4C に割り当てられた第 5 章「MSS Concept」及び第 6 章「RDSS Concept」の内容の更新を行った。作業の進捗を WP4A に知らせるリエゾン文書は AHG 議長が作成し、WP4C で直接審議された。

【主な検討案件と審議結果】

1. 衛星通信技術ハンドブックの第 5 章(MSS のコンセプト)と第 6 章(RDSS のコンセプト)の更新
2. WP4A 宛リエゾン文書

5.3.8.1. 衛星通信技術ハンドブックの第 5 章と第 6 章の更新

入力文書: 4C/531(WP4A)、535(Editor, Satellite Communications and Technologies Handbook)、543(MEASAT)、626(AST & Science SpaceMobile)

出力文書: 4C/TEMP/141、142

- 前回 WP 4C 会合(2025 年 11 月)において、AST & Science SpaceMobile 及び米国からの寄与文書を基に、第 5 章(MSS Concept)及び第 6 章(RDSS Concept)の草案を更新し、WP4A に送付した。この文書は WP4C 議長報告にも

添付され、持ち越された(4C/528 Annex 23 及び 24)。

- WP4A からは、同 WP の 2025 年 11 月会合における審議結果を伝えるリエゾン文書(4C/361)が送付されていたが、その後ハンドブックのエディター(Editor, Satellite Communications and Technologies Handbook)から、同ハンドブックの作業文書を章ごとに分割した新たな寄与文書(4C/535)が作業の基本文書として提出されたため、本 WP でもこの版の第 5 章と第 6 章を基に審議を進めた。
- 今回会合では、担当する第 5 章と第 6 章の中で、WP4A における作業の結果、さらなる内容の充実が求められるとされた部分を中心に内容を追加する寄与文書が AST & Science SpaceMobile から提出された。主な追記箇所は以下の通りであり、特段の議論はなかった。
 - 第 5 章での主な追記箇所
 - 5.2 アプリケーションの種類(Types of Applications)
 - 5.7 リンク性能(Link Performance)
 - 5.8 リンク信頼性(Link Reliability)
 - 5.9 規制上の考慮事項(Regulatory Consideration)
 - 第 6 章での主な追記箇所
 - 6.2.2 RDSS 宇宙セグメントの主要サブシステム(Key Subsystems of the RDSS Space Segment)
 - 6.2.3 衛星コンステレーション設計(Satellite Constellation Design)
 - 6.7 課題と考慮事項(Challenges and Considerations)※新規項目
 - 6.8 将来の方向性と革新(Future Directions and Innovations)※新規項目
- 提出された文書は 1 件のみであったことから、AST がこれを 4C/535 の第 5 章と第 6 章に統合した。今回追記された箇所についての意見を募ったが特段の議論はなく、各章を TEMP 文書として出力した(TEMP/141、142)。
- なお、4C/386(MEASAT)は第 13 章「信頼性(Reliability)」の章のテキスト案を提案するものであったが、本 WP の作業範囲ではなく、WP4A で詳細に審議すべきとの意見で合意されたことから情報として了知した。

<審議結果>

- 以上 2 章については、ほぼ作業を完了し、WP4A 宛リエゾン文書(次項参照)に添付して送付した。

5.3.8.2. WP4A 宛リエゾン文書案

入力文書: なし

出力文書: 4C/TEMP/149

- Ad-hoc における審議においては、WP4A 宛に本ハンドブックの進捗を知らせ、ハンドブックの更新案を送付するためのリエゾン文書は作成されなかったが、AHG 議長が作成した議長報告の Annex 番号を参照する短いリエゾン文書案が最終プレナリに提出された(4C/TEMP/149)。

<審議結果>

- プレナリにおいて、リエゾン文書の本文については特段の質疑なく承認された。

5.4. 入力文書と審議結果

審議文書と結果は表 7 に、入力文書は表 8 に示す。

表 6 プレナリで審議された出力文書と結果一覧

文書番号 4C/TEMP/*	題目	審議結果
141	Draft Chapter 5 of Satellite Communications and Technologies Handbook	議長報告添付 (Annex 26)
142	Draft Chapter 6 of Satellite Communications and Technologies Handbook	議長報告添付 (Annex 27)
143	[Draft] Reply liaison statement to Working Party 7C - RNSS-related comments on new Report ITU-R RS.2566	WP7C に送付
144	[Draft] reply liaison statement to Working Party 5B - Protection of RNSS receivers operating in 5 010-5 030 MHz from AM(R)S transmitters operating in 5 030-5 091 MHz	WP5B に送付
145	Working document towards a preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.2031-1 - Characteristics and protection criteria of receiving earth stations and characteristics of transmitting space stations in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth) operating in the band 5 010-5 030 MHz	議長報告添付 (Annex 23)
146	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.1787-6 - Description of systems and networks in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth and space-to-space) and technical characteristics of transmitting space stations operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	議長報告添付 (Annex 18)
147	Working document towards a preliminary draft revision Recommendation ITU-R M.1316-1 - Principles and a methodology for frequency sharing in the 1 610.6-1 613.8 MHz and 1 660-1 660.5 MHz bands between the mobile-satellite service (Earth-to-space) and the radio astronomy service	議長報告添付 (Annex 20)
148	Proposals on the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1183	議長報告添付 (Annex 21)
149	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - Update on sections 5 and 6 regarding MSS and RDSS/RNSS of the draft working document for the Handbook on Satellite Communications and Technologies	WP4A に送付
150	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RES.609] - Potential mitigation methods to ensure the aggregate equivalent power flux-density (epfd) limit on radionavigation-satellite service (RNSS) systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz band, from resolves 1 of Resolution 609 (Rev.WRC-07), is not exceeded	議長報告添付 (Annex 16)
151	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RES.609-FURTHER] - Study of alternatives to a per-satellite maximum PFD level in ensuring that no single radionavigation-satellite system or network in the 1 164-1 215 MHz frequency band uses up the entire interference allowance specified by resolves 1 of Resolution 609 (Rev. WRC-07)	議長報告添付 (Annex 17)
152	Working document in support of WRC-31 preliminary agenda item 2.9 - Technical characteristics, operational objectives, spectrum needs of emerging RNSS systems to facilitate consideration of WRC-31 preliminary agenda item 2.9	議長報告添付 (Annex 19)
153	Working document toward a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1480-0 - Essential technical requirements of mobile earth stations of geostationary mobile-satellite systems that are implementing the global mobile personal communications by satellite (GMPCS) - memorandum of understanding arrangements in parts of the frequency band 1-3 GHz	議長報告添付 (Annex 28)
154	Element for Working Party 4C Chair Report on the protection criteria of existing MSS to be applied in sharing and compatibility studies within the WRC-27 agenda items 1.11, 1.12, 1.13 and 1.14	議長報告に反映

文書番号 4C/TEMP/*	題目	審議結果
155	Protection criteria of existing MSS to be applied in sharing and compatibility studies within the WRC-27 agenda items 1.11, 1.12, 1.13 and 1.14	議長報告添付 (Annex 22)
156	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11	議長報告添付 (Annex 1)
157	Enabler table for system characteristics and sharing studies for WRC-27 agenda item 1.11	議長報告添付 (Annex 4)
158	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.11 - Space-to-space links in the frequency bands 1 518-1 544 MHz, 1 545-1 559 MHz, 1 610-1 645.5 MHz, 1 646.5-1 660 MHz, 1 670-1 675 MHz and 2 483.5-2 500 MHz allocated to the mobile-satellite service (MSS)	議長報告添付 (Annex 2)
159	Work plan for WRC-27 agenda item 1.11	議長報告添付 (Annex 5)
160	Supporting document for CPM text of agenda item 1.11 comments and questions	議長報告添付 (Annex 3)
161	Working document with regard to overlapping frequency band 2010-2025 MHz considered in WRC-27 agenda items 1.12 and 1.13	議長報告添付 (Annex 24)
162	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1184-3 - Technical characteristics of mobile satellite systems in the frequency bands below 3 GHz for use in sharing and compatibility studies between the mobile-satellite service (MSS) and other services	承認(SG4 に上程)
163	Draft working document on sharing and compatibility studies of possible new allocations to the MSS on WRC-27 agenda item 1.14	議長報告添付 (Annex 14)
164	Proposed revisions to detailed workplan for WRC-27 agenda item 1.14	議長報告添付 (Annex 15)
165	Working document relating to CPM text for WRC-27 agenda item 1.14	議長報告添付 (Annex 13)
166	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12	議長報告添付 (Annex 6)
167	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.12 - Studies on low-data-rate non-GSO mobile-satellite systems in the mobile-satellite service	議長報告添付 (Annex 7)
168	Draft work plan for WRC-27 agenda item 1.12	議長報告添付 (Annex 8)
169	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	議長報告添付 (Annex 9)
170	Working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	議長報告添付 (Annex 10)
171	Work plan for WRC-27 agenda item 1.13	議長報告添付 (Annex 12)
172	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R [MSS_SAT_ANTENNA_PATTERN] - Satellite antenna radiation patterns for non-geostationary orbit satellite antennas operating in the mobile-satellite service below 30 GHz	議長報告添付 (Annex 25)
173	Working document on the possible description and functionality of MSS Systems for direct connectivity between space stations and IMT user equipment	議長報告添付 (Annex 11)
174	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Studies on WRC-27 agenda item 1.13	不承認(取り下げ)

表 7 入力文書一覧

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
528 +Ann.1-25	Chair, WP 4C	Report of the thirty-fourth meeting of Working Party 4C (Geneva, 15-24 October 2025)	Plenary
529	IMO	Report of the twenty-first meeting of the joint IMO/ITU Experts Group on Maritime Radiocommunication Matters	Plenary
530	ICAO	ICAO position for the ITU WRC-27	SWG4C1b/ SWG4C2a/ SWG4C2b

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
531	WP 4A	Reply liaison statement to Working Parties 4B and 4C (copy for information to Working Parties 5A and 5B)	AHG Hqnd-book
532	ITU-T SG3	Reply liaison statement on work items dealing with cost and economic aspects of satellite internet connectivity	Plenary
533	WP 4A	Liaison statement to Working Party 4C – Information on non-GSO MSS satellite systems as support for WRC-27 agenda item 1.5	WG4C2
534	WP 5A	Reply liaison statement to CCT (copy to ITU-T Study Groups 5, 13 and 15 and ITU-R Working Parties 4A, 4B, 4C, 5C, 5D, and 6A for information) – Terminology “multiple-input and multiple-output (MIMO)” and “mesh networks”	Plenary
535 +Ch.1-17	Editor, Sat-Com Tech HB	Working document towards a draft new Handbook on Satellite Communications and Technologies	AHG Hqnd-book
536	WP 5C	Reply liaison statement to ITU-R Working Party 7B (copy for information to Working Parties 4A, 4C and 5B) – Relevant technical information to support studies under WRC-27 agenda item 1.15	WG4C2
537	WP 5B	Liaison statement to Working Party 4C (copy to the International Maritime Organization for information) – Characteristics for MSS (Earth-to-space) in the band 1 645.5-1 646.5 MHz	SWG4C1a
538	WP 5B	Reply liaison statement to Working Party 4C – Protection of RNSS receivers operating in 5 010-5 030 MHz from AM(R)S transmitters operating in 5 030-5 091 MHz	SWG4C2b
539	ATIS ⁴	Liaison statement on NTN in TN spectrum	WG4C1
540	CCT	Reply liaison statement to ITU-R Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5C, 5D and 6A (copy to ITU-T Study Groups 5, 13 and 15) – Validation of the terms “mesh network” and “multiple-input and multiple-output (MIMO)”	Plenary
541	Director, BR	Further information on the use of the Conference Proposal Interface (CPI) for the preparation of examples of regulatory texts for the draft CPM Report to WRC-27	Plenary
542(Rev.1)	Chair, WP 4C	Analysis of work plan of WRC-27 agenda item 1.13	Plenary /WG4C1
543	MEASAT ⁵	Draft working document for the Handbook on Satellite Communications and Technologies	AHG Hqnd-book
544	WP 5D	Reply liaison statement to the Coordination Committee for Terminology (CCT) (copy to ITU-T Study Group 5, ITU-R Working Parties 4C, 5A, 5B and 6A) – Comments on the term “mobile telecommunication terminal” and its definition developed by ITU-T Study Group 5	Plenary
545	WMO	Preliminary position on WRC-27 agenda	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c
546	UAE	Updates to preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.1787-[6] – Description of systems and networks in the radio-navigation-satellite service (space-to-Earth and space-to-space) and technical characteristics of transmitting space stations operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	SWG4C2b
547	WP 7C	Reply liaison statement to Working Party 4C – Updates regarding Working Party 7C consideration of RNSS-related comments on new Report ITU-R RS.[AGG EESS SAR-RNSS]	SWG4C2b
548	WP 7C	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B and 5C regarding progress of work on WRC-27 agenda item 1.18	WG4C2
549	WP 7B	Reply liaison statement to Working Party 4C studies on WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
550	WP 7B	Liaison statement to ITU-R Working Parties 3J, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 7A, 7C and 7D – Progress of activities relating to	WG4C2

⁴ Alliance for Telecommunications Industry Solutions

⁵ MEASAT Satellite Systems Sdn. Bhd.

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		WRC-27 agenda item 1.15	
551	WP 7C	Liaison statement to working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B and 7D regarding progress of work – WRC-27 agenda item 1.17	WG4C2
552	Iran	Investigation of interference scenarios between the envisaged single DC-MSS-IMT system and terrestrial IMT networks – WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
553	IUCAF	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1316	WG4C2
554	Japan, France	Proposed modification of working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
555	Korea (Rep. of)	Proposed modifications to working document towards draft CPM text and draft new Resolution for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
556	Russian Federation	Proposed updates to the working document regarding RDSS (section 5.2.2), ARNS (section 5.2.3), ARNSS (section 5.2.4) on WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
557	Russian Federation	Proposed updates to working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11 regarding frequency band 1 610-1 626.5 MHz	SWG4C2a
558	Russian Federation	Proposed changes to the working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11 in the frequency bands 1 525-1 544 MHz, 1 545-1 559 MHz and 1 626.5-1 645.5 MHz, 1 646.5-1 660 MHz	SWG4C2a
559	Russian Federation	Proposed changes to working document regarding WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
560	Russian Federation	Working document towards draft CPM text to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
561	Russian Federation	Studies with regards to overlapping frequency bands considered in WRC-27 agenda items 1.12 and 1.13	SWG4C1a/ SWG4C1b
562	Russian Federation	Proposed edits to the working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
563	Russian Federation	Proposed amendments to working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13 with respect to digital mobile communication systems operating in the 2 110-2 170 MHz frequency band	SWG4C1b
564	Russian Federation	Sharing and compatibility studies between DC-MSS-IMT in the 2 110-2 170 MHz frequency band and SRS (deep space) in the 2 110-2 120 MHz frequency band	SWG4C1b
565	Russian Federation	Working document towards draft CPM text to WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
566	Russian Federation	Sharing and compatibility studies between MSS and IMT in the 2 010-2 025 MHz frequency band	SWG4C1c
567	Director, BR	Clarifications on technical and regulatory examination of the RNSS frequency assignments in 1 164-1 215 MHz band	SWG4C2b
568	Maldives	Baseline and reverse-duplex coexistence assessment for direct-connectivity MSS/IMT studies in the band 2 500-2 690 MHz	SWG4C1b
569	Dominica	Proposals to streamline and advance Working Party 4C's work under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
570	Samoa	Protection criteria for existing mobile satellite services under WRC-27 agenda items 1.12, 1.13 and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c/ AHG MSS PC
571	Luxembourg	Proposed modifications to the working document regarding WRC-27 agenda item 1.14 (1)	SWG4C1c
572	Luxembourg	Proposed modifications to the working document regarding WRC-27 agenda item 1.14 (2)	SWG4C1c
573	India	Enabler table for system characteristics and sharing studies for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
574	India	Incumbent system characteristics in the 2.4/2.5/2.6 GHz fre-	SWG4C1b

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		quency bands for sharing and compatibility studies in preparation for WRC-27 agenda item 1.13	
575	India	Preliminary draft revision to Recommendation ITU-R M.1787-[6] – Description of systems and networks in the radionavigation-satellite service (space-to-Earth and space-to-space) and technical characteristics of transmitting space stations operating in the bands 1 164-1 215 MHz, 1 215-1 300 MHz and 1 559-1 610 MHz	SWG4C2b
576	India	Working document on sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
577	SES	Proposed modifications to Annex 8 Part 1 of working document for WRC-27 agenda item 1.13 for inclusion of new DC-MSS-IMT System 9	SWG4C1b
578	CRAF ⁶	Compatibility studies relating to space-to-space links in the frequency bands 1 610-1 645.5 MHz, 1 646.5-1 660 MHz, 1 670-1 675 MHz and 2 483.5-2 500 MHz allocated to the Mobile-Satellite Service (MSS) and the Radio Astronomy Service (RAS) operating in the bands 1 610.6-1 613.8 MHz, 1 660-1 670 MHz and 4 990-5 000 MHz for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
579	CRAF	Compatibility study of several non-GSO LDR MSS systems operating in the frequency band 1 427-1 432 MHz and RAS operating in the band 1 400-1 427 MHz for WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
580	SKAO ⁷	Compatibility study of MSS operating in the frequency band 791-821 MHz and RAS operating in the band 1 610.6-1 613.8 MHz for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
581	CRAF, SKAO	Compatibility study of MSS operating in the frequency band 1 475-1 518 MHz and RAS operating in the band 1 400-1 427 MHz for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
582	CRAF, SKAO	Compatibility study of MSS operating in the frequency band 2 110-2 180 MHz and RAS operating in the band 10 600-10 700 MHz for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
583	CRAF, SKAO	Compatibility study of MSS operating in the frequency band 2 620-2 690 MHz and RAS operating in the band 2 690-2 700 MHz for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
584	Egypt	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
585	Egypt	Technical and regulatory considerations towards the work on WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
586	SKAO	Compatibility studies between selected DC-MSS-IMT systems and SKA-Mid / MeerKAT radio astronomy station at 1.4 GHz and 2.6 GHz	SWG4C1b
587	SKAO, CFAF	Impact studies between DC-MSS-IMT and Radio Astronomy Service at 2.6 GHz	SWG4C1b
588	BT 他 ⁸	pfd field measurement method	SWG4C1b
589	Orange	pfd limit verification methodology	SWG4C1b
590	Globalstar, Inc.	Studies for protection of MSS (E-S) from satellite-to-satellite links in 1 610-1 626.5 MHz band	SWG4C2a
591	Globalstar, Inc.	Updates to working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
592	United Kingdom	Protection criteria for Mobile-Satellite Service systems and networks	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c/ AHG MSS PC
593	United Kingdom	Potential updates to Recommendation ITU-R M.1183 to include protection of non-GSO MSS systems and protection from interference of a non-continuous nature	AHG MSS PC

⁶ Committee on Radio Astronomy Frequencies

⁷ Committee on Radio Astronomy Frequencies, Square Kilometre Array Observatory

⁸ British Telecommunications Plc. (BT Plc), Orange

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
594	United Kingdom	Proposed revisions to working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
595	United Kingdom	Proposed revisions to working document regarding WRC-27 agenda item 1.12 – Studies on low-data-rate non-GSO mobile-satellite systems in the Mobile-Satellite Service	SWG4C1a
596	CEPT	Revisions to working document regarding WRC-27 agenda item 1.11 on coexistence with the MetSat service	SWG4C2a
597	CEPT	Proposed modifications to working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
598	Namibia, South Africa	Calculation of aggregated interference from DC-MSS-IMT to IMT	SWG4C1b
599	South Africa	Proposal for compatibility studies between MSS operating in the frequency band 2 620-2 690 MHz and RAS operating in the band 2 690-2 700 MHz in relation to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
600	Namibia, South Africa	Proposals on draft CPM text in respect of WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
601	DECT Forum	Coexistence studies between LDR MSS and DECT in 1 880-1 920 MHz under WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
602	DECT Forum	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.12 – Studies on low-data-rate non-GSO mobile-satellite systems in the Mobile-Satellite Service	SWG4C1a
603	Saudi Arabia	A cross-border sharing study of DC-MSS-IMT and IMT systems in the frequency range 698 to 960 MHz	SWG4C1b
604	Germany	Proposed changes to the working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13 – Study on multi-system aggregation effects by D2C-MSS towards IMT in context with cross-border coordination according to WRC-27 Agenda Item 1.13	SWG4C1b
605	Germany 他 ⁹	Proposed changes to working document regarding WRC-27 agenda item 1.14 – Sharing and compatibility studies of possible new allocations to the MSS	SWG4C1c
606	Canada, Norway	Studies and elements for the working document regarding WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
607	Spark NZ Limited	EIRP models for adjacent channels in adjacent bands	SWG4C1b
608	Australia	Compatibility study under WRC-27 agenda item 1.11 – Assessment of space-to-space link interference into the uplink of HIBLEO-X / HIBLEO-XL-1 / HIBLEO-4	SWG4C2a
609	Australia	Proposed modifications to working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
610	Brazil	Updates to the working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
611	Brazil	Protection of IMT under WRC-27 agenda item 1.13 using interference mitigation techniques to meet pfd levels	SWG4C1b
612	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – considerations on sharing study between IMT and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz	SWG4C1b
613	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on sharing study between IMT in the frequency bands 1 920-1 980 MHz (uplink) and 2 110-2 170 MHz (downlink) and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
614	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility study between IMT in the frequency bands 1 920-1 980 MHz (uplink) and 2 110-2 170 MHz (downlink) and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
615	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on sharing study between IMT and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 694/698-960 MHz	SWG4C1b
616	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility	SWG4C1b

⁹ Germany, Austria, France, Italy, Latvia, Lithuania, Malta, Netherlands (Kingdom of the), Slovenia, Spain, Switzerland

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		study between FS in the frequency band 2 025-2 110 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz (downlink)	
617	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on sharing study between FS in the frequency band 1 710-2 025 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
618	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on sharing study between FS in the frequency band 1 710-2 025 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 1 710-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
619	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility study between FS in the frequency band 2 025-2 110 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency bands 2 110-2 170 MHz (downlink)	SWG4C1b
620	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on sharing study between FS in the frequency band 694/698-960 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 694/698-960 MHz (downlink)	SWG4C1b
621	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility study between FS in the frequency band 694/698-960 MHz and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 694/698-960 MHz (downlink)	SWG4C1b
622	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility study between EESS in the frequency band 2 200-2 290 MHz (s-E) and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 2 110-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
623	Brazil	WRC-27 agenda item 1.13 – Considerations on compatibility study between EESS in the frequency band 2 200-2 290 MHz (s-E) and DC-MSS-IMT operating in the frequency band 2 110-2 200 MHz (downlink)	SWG4C1b
624	AST & Science Space-Mobile	Sharing study supporting WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
625	AST 他 ¹⁰	Sharing and compatibility study between an MSS system utilizing a space-to-space link transmissions and a victim MSS Earth-to-space system in the frequency bands 1 626.5-1 660 MHz	SWG4C2a/
626	AST & Science Space-Mobile	Handbook on Satellite Communications and Technologies – Chapters 5 and 6	AHG Hand-book
627	IAFI	Updates to the working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
628	Mexico	Input for working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
629	Mexico	Considerations on the development of regulatory provisions for direct connectivity between space stations and IMT user equipment under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
630	ESA	Technical analysis related to the protection of EESS (passive) in the band 1 400-1 427 MHz from MSS LDR systems in the band 1 427-1 432 MHz	SWG4C1a
631	European Space Agency (ESA)	Technical analysis related to the protection of SOS/EESS/SRS satellite receivers in the band in the band 2 025-2 110 MHz from D2D satellite emissions in the band 2 110-2 170 MHz	SWG4C1b
632	Papua New Guinea	Reference system characteristics and studies on compatibility between DC-MSS-IMT and BSS operating in the frequency range 1 475-1 518 MHz	SWG4C1b
633	Papua New Guinea	Proposed modifications to Annex 8 Part 2-6 of working document for WRC-27 agenda item 1.13 for inclusion of new studies	SWG4C1b
634	CEPT	Proposed modifications to working document on sharing and	SWG4C1a

¹⁰ AST & Science SpaceMobile, Ligado NETWORKS LLC

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		compatibility studies of possible new allocations to the MSS on WRC-27 agenda item 1.12	
635	Japan	Proposed updates on working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RES.609] – Potential mitigation methods to ensure the aggregate equivalent power flux-density (epfd) limit on radionavigation-satellite service (RNSS) systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz band, from resolves 1 of Resolution 609 (Rev.WRC-07), is not exceeded	SWG4C2b
636	Japan	Proposed modification to the documents regarding WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
637	Japan	Proposals on sharing studies under WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
638	Japan	Proposals on sharing studies between HIBS and MSS (Earth-to-space) in the frequency band 2 010-2 025 MHz under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
639	Japan	Proposals on sharing studies between HIBS and DC-MSS-IMT under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
640	Japan	Proposed updates to sharing and compatibility studies between incumbent MSS systems and DC-MSS-IMT systems in the 2.5/2.6 GHz frequency bands under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
641	Japan	Proposed modification of working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13 and liaison statement to Working Party 5D	SWG4C1b
642	Japan	Updating of the working document on the sharing and compatibility study between terrestrial IMT and DC-MSS-IMT	SWG4C1b
643	Japan	Sharing and compatibility study between terrestrial IMT and DC-MSS-IMT in the frequency band of 694/698 – 960 MHz including considering on aggregation factor	SWG4C1b
644	Japan	Evaluation of interference to terrestrial IMT user equipment in neighbouring areas from the DC-MSS-IMT system using Single-Input Single-Output (SISO) and Multiple-Input Multiple-Output (MIMO) configurations, operating in the 698-960 and 1 710-1 970 MHz band	SWG4C1b
645	Japan	Satellite beam placement in DC-MSS-IMT systems	SWG4C1b
646	Japan	Sharing and compatibility studies between fixed services (FS) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 1 710-1 970 MHz and 2 110-2 170 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
647	Japan	Sharing and compatibility studies between meteorological-satellite services (MetSat) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 1 710-1 970 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
648	Japan	Sharing and compatibility studies between Aeronautical Mobile Services (AMS) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 1 710-1 970 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
649	Japan	Sharing and compatibility studies between fixed services (FS) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 698-960 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
650	Japan	Sharing and compatibility studies between Intelligent Transport Systems (ITS) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 698-960 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
651	Japan	Sharing and compatibility studies between broadcasting services (BS) and DC-MSS-IMT system in the frequency band 698-960 MHz under agenda WRC-27 item 1.13	SWG4C1b
652	Japan	Interference management for non-geostationary satellite-based DC-MSS-IMT systems	SWG4C1b
653	Japan	Proposed updates on working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
654	Japan	Proposed updates on studies for technical characteristics and operational objectives of emerging RNSS systems	SWG4C2b
655	France	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
656	France	Working document on sharing and compatibility studies of possible new allocations to the MSS on WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
657	France	Proposed updates to working document towards a preliminary	SWG4C2b

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		draft new Report ITU-R M.[RES.609] – Potential mitigation methods to ensure the aggregate equivalent power flux-density (epfd) limit on radionavigation-satellite service (RNSS) systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz band, from resolves 1 of Resolution 609 (Rev.WRC-07), is not exceeded	
658	France	Working document relating to CPM text for WRC-27 agenda item 1.14 – New frequency allocations to the mobile-satellite service in the frequency bands 2 010-2 025 MHz (Earth-to-space) and 2 160-2 170 MHz (space-to-Earth) in Regions 1 and 3 and 2 120-2 160 MHz (space-to-Earth) in all Regions	SWG4C1c
659	France	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.12 – Studies on low-data-rate non-GSO mobile-satellite systems in the mobile-satellite service	SWG4C1a
660	France	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.11 – Space-to-space links in the frequency bands 1 518-1 544 MHz, 1 545-1 559 MHz, 1 610-1 645.5 MHz, 1 646.5-1 660 MHz, 1 670-1 675 MHz and 2 483.5-2 500 MHz allocated to the mobile-satellite service (MSS)	SWG4C2a
661	France	Supporting material on the MSS protection criteria to be used in sharing and compatibility studies within the context of WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a/ AHG MSS PC
662	France	Supporting material on the MSS protection criteria to be used in sharing and compatibility studies within the context of WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c/ AHG MSS PC
663	France	Working document in support of WRC-31 preliminary agenda item 2.9 – Technical characteristics and operational objectives of emerging RNSS systems	SWG4C2b
664	France	In-band interference from DC-MSS-IMT space station transmitters into incumbent MSS/DC-MSS-IMT space station receivers in the 1 900 MHz band	SWG4C1b
665	France	Reply liaison statement to 3GPP copy to Working Parties 5D and 4B – NTN in TN spectrum and the work related to WRC-27 agenda item 1.13	WG4C1
666	Telefon AB - LM Ericsson	Methodology for calculation and verification of aggregate pfd/epfd per system	SWG4C1b
667	Satelio IoT Services, S.L	Proposed working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
668	Satelio IoT Services, S.L	Sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.12 between non-GSO LDR MSS and FS in the 2 010-2 025 MHz frequency band	SWG4C1a
669	Satelio IoT Services, S.L	Considerations for sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
670	Tunisia	Protection criteria and regulatory framework for WRC-27 agenda item 1.13 (DC-MSS-IMT)	SWG4C1b
671	GSM Association	Regulatory considerations for the protection of terrestrial IMT networks under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
672	Nigeria, Senegal	Cross-border same-band coexistence contribution for DC-MSS-IMT systems and terrestrial IMT networks 1 920-1 980 / 2 110-2 170 MHz (FDD arrangement B1, Recommendation ITU-R M.1036-7)	SWG4C1b
673	Nigeria	Geographical analysis supporting cross-border same-band coexistence study for DC-MSS-IMT systems and terrestrial IMT networks	SWG4C1b
674	Nigeria	Considerations on 3GPP liaison statement (request regarding NTN deployment in terrestrial IMT bands under WRC-27 agenda item 1.13)	WG4C1
675		Document withdrawn	
676	Nigeria	Supporting material on the MSS protection criteria to be used in sharing and compatibility studies within the context of WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c/ AHG MSS PC

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
677	United States	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
678	United States	Working document toward draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C1c/ SWG4C2a
679	United States	Working document regarding WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
680	United States	Working document toward draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
681	United States	Proposed draft reply liaison statement to working Party 7C on EESS-RNSS matters – (Questions ITU-R 217-2/4 and 288/4)	SWG4C2b
682	United States	Proposed updates to the working document in support of WRC-31 preliminary agenda item 2.9	SWG4C2b
683	United States	Proposed draft reply liaison statement to Working Party 5B – Protection of RNSS receivers operating in 5 010-5 030 MHz from AM(R)S transmitters operating in 5 030-5 091 MHz – (Questions ITU-R 217-2/4 and 288/4)	SWG4C2b
684	United States	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RES.609] – Potential mitigation methods to ensure the aggregate equivalent power flux-density (epfd) limit on radionavigation-satellite service (RNSS) systems and networks operating in the 1 164-1 215 MHz band, from resolves 1 of Resolution 609 (Rev.WRC-07), is not exceeded	SWG4C2b
685	United States	Working document towards a preliminary draft new Report – Study of alternatives to a per-satellite maximum pfd level in ensuring that no single radionavigation-satellite system or network in the 1 164-1 215 MHz frequency band uses up the entire interference allowance specified by resolves 1 of Resolution 609 (Rev.WRC-07)	SWG4C2b
686	United States	Working document towards a draft revision of Recommendation ITU-R M.1183	AHG MSS PC
687	United States	Preliminary draft new Recommendation ITU-R [NGSO_MSS_SAT_ANTENNA_PATTERN] – Satellite antenna radiation patterns for non-geostationary orbit satellite antennas operating in the mobile-satellite service below 30 GHz	SWG4C1b
688	United States	Supporting material on the MSS protection criteria to be used in sharing and compatibility studies within the context of WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ AHG MSS PC
689	United States	Working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
690	United States	Sharing and compatibility studies of DC-MSS-IMT in the frequency band 2 500-2 690 MHz under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
691	United States	Elements for working document on sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.13 – Study of impact on incumbent AMT systems operating in 2 360-2 395 MHz from non-geostationary orbiting satellite systems operating in 2 300-2 400 MHz and meeting a candidate power flux-density mask	SWG4C1b
692	United States	Elements for working document on sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.13 – Compatibility studies for Aeronautical Mobile Telemetry	SWG4C1b
693	United States	Working document on sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.13 (FS)	SWG4C1b
694	United States	Working document on sharing and compatibility studies in relation to WRC-27 agenda item 1.13 (AMS)	SWG4C1b
695	United States	Working document toward draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
696	United States	Sharing study in 2 350-2 360 MHz supporting WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
697	United States	Reply liaison statement to 3GPP copy to Working Party 5D	WG4C1

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
698	EBU ¹¹	Working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.12 – Proposed modifications to Annex 7 to Document 4C/528	SWG4C1a
699	ESA	Working document in support of WRC-31 provisional agenda item 2.9 – Technical characteristics and operational objectives of emerging RNSS systems	SWG4C2b
700	Colombia	Coexistence study between D2D satellite networks and terrestrial IMT systems in the 698-2 700 MHz range under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
701	Germany	Studies on compatibility between DC-MSS-IMT and BSS operating in the frequency range 1 475-1 518 MHz	SWG4C1b
702	Angola 他 ¹² ,	Proposed draft CPM text on protection criteria for existing Mobile Satellite Services for consideration under WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c /AHG MSS PC
703	Germany	Proposed changes and amendments to supporting material on the MSS protection criteria to be used in sharing and compatibility studies within the context of WRC-27 agenda items 1.12, 1.13, and 1.14	SWG4C1a/ SWG4C1b/ SWG4C1c/ AHG MSS PC
704	Viasat, Inc.	Sharing and compatibility studies of DC-MSS-IMT in the frequency range 1 427-1 518 MHz and MSS systems in 1 518-1 559 MHz	SWG4C1b
705	Viasat, Inc.	Coexistence of MSS space-to-space systems and other GSO and non-GSO MSS systems	SWG4C2a
706	Viasat, Inc.	Sharing and compatibility of GSO MSS systems in the band 1 980-2 010 MHz and proposed DC-MSS-IMT systems in the band 1 930-2 200 MHz	SWG4C1b
707	Canada	Proposed modifications to working document towards – Draft CPM text on WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
708	Canada	Proposals for working document relating to CPM text for WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
709	Australia, Canada	Proposed reply liaison statement to 3GPP	WG4C1
710	China	Proposed modifications to the working document regarding WRC-27 agenda item 1.11 – Space-to-space links in the frequency bands 1 518-1 544 MHz, 1 545-1 559 MHz, 1 610-1 645.5 MHz, 1 646.5-1 660 MHz, 1 670-1 675 MHz and 2 483.5-2 500 MHz allocated to the mobile-satellite service (MSS)	SWG4C2a
711	China	Proposed modifications to working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.11	SWG4C2a
712	China	Update on the description/definition of non-GSO low-data-rate mobile-satellite service under WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
713	China	Update on the sharing and compatibility studies between MSS and IMT under WRC-27 agenda item 1.12	SWG4C1a
714	China	Sharing and compatibility studies of DC-MSS-IMT and incumbent services in the frequency band 694/698-960 MHz	SWG4C1b
715	China	Proposal for sharing and compatibility studies in the frequency bands 1 427-1 518 MHz in relation to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
716	China	Sharing and compatibility studies of DC-MSS-IMT and incumbent services in the frequency band 1 710-2 200 MHz	SWG4C1b
717	China	Sharing and compatibility studies between DC-MSS-IMT and HIBS under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
718	China	Sharing and compatibility studies between DC-MSS-IMT and IMT under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
719	China	Compatibility analysis between DC-MSS-IMT system and MS	SWG4C1b

¹¹ European Broadcasting Union

¹² Angola, Botswana, Comoros, Dem. Rep. of the Congo, Eswatini, Kenya, Lesotho, Madagascar, Malawi, Mauritius, Mozambique, Namibia, Seychelles, South Africa, South Sudan, Tanzania, Uganda, Zambia, Zimbabwe

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		system under WRC-27 agenda item 1.13	
720	China	Sharing and compatibility studies between the DC-MSS-IMT system and incumbent MSS system under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
721	China	Sharing and compatibility studies between the DC-MSS-IMT system and SOS system under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
722	China	Proposal on sharing and compatibility studies of DC-MSS-IMT systems in the frequency band 2 300-2 400 MHz in relation to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
723	China	Analysis on the applicability of Recommendation ITU-R M.2101 under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
724	China	Proposal on revisions of the working document on sharing and compatibility studies under WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
725	China	Proposal on draft CPM text regarding WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
726	China	Proposal on draft reply liaison statement to 3GPP on NTN in TN spectrum	WG4C1
727	China	Proposal for sharing and compatibility studies in the frequency band 2 500-2 690 MHz in relation to WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
728	China	Update of sharing and compatibility studies between MSS and IMT in the 2 120-2 170 MHz frequency band under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
729	China	Review of working document on sharing and compatibility studies of possible new allocations to the MSS – WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
730	China	Proposed updates on working document on sharing and compatibility studies of possible new allocations to the MSS on WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
731	China	Additional analysis of sharing and compatibility studies between the MSS system and SOS system under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
732	China	Compatibility analysis of interference between MSS system and MS system under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
733	China	Proposed updates to sharing and compatibility studies between MSS and SAP/SAB operated in 2 010-2 025 MHz frequency band under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
734	China	Sharing and compatibility studies between MSS and FS in 2 010-2025 MHz frequency band under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
735	China	Sharing and compatibility studies between MSS and IMT in 2 010-2 025 MHz frequency band under WRC-27 agenda item 1.14	SWG4C1c
736	China	Proposal for draft revision of Recommendation ITU-R M.1184-3 – Technical characteristics of mobile satellite systems in the frequency bands below 3 GHz for use in sharing and compatibility studies between the mobile-satellite service (MSS) and other services	DG ITU-R M.1184-3
737	China	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1480 – Essential technical requirements of mobile earth stations of geostationary mobile-satellite systems that are implementing the global mobile personal communications by satellite (GMPCS) – memorandum of understanding arrangements in parts of the frequency band 1-3 GHz	WG4C2
738	China	Proposed updates to working document in support of WRC-31 preliminary agenda item 2.9	SWG4C2b
739	Germany	Proposals on to the work of Working Party 4C on the working document towards draft CPM text for WRC-27 agenda item 1.13	SWG4C1b
740(Rev.1)	BR, Study Groups Department	List of documents issued (Documents 4C/528 – 4C/740)	—
741	ITU-D SG1	Liaison statement from ITU-D Study Group 1 Question 2/1 to ITU-R Working Parties 1B, 4A, 4B, 4C, 5A, 5D, 6A, 6B and 6C -	Plenary

文書番号 4C/**	提出元	題目	担当 WG/SWG
		ITU-D Study Group 2 Question 2/1: Enabling policies and regulations for adopting digital telecommunication/ICT services and technologies for distribution and broadcasting	
742	ITU-D SG1	Liaison statement on request information about disaster resilience work items in Telecommunication/ICT area - ITU-D Study Group 1 Question 3/1: The use of telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management	Plenary